

## 行政常任委員会

令和 5 年 9 月 2 0 日（水）

午前 9 時 5 9 分開 会

○南委員長 おはようございます。

それでは、ただいまより行政常任委員会を開会いたします。

今日は水産農林、商工観光、建設、教育委員会まで行きたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

なお、本日の欠席通告者は、病気のため村田幸隆委員、出産のため中里沙也加委員であります。

それでは、水産農林課から、議案第 4 6 号の尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定の所管説明をお願いいたします。

○芝山水産農林課長 おはようございます。水産農林課です。よろしく願いいたします。

それでは、議案第 4 6 号、令和 4 年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、当課に関する決算状況につきまして、歳入歳出決算書並びに主要施策の成果及び実績報告書を用いて説明いたします。

それでは、歳出について御説明いたします。

決算書 1 6 2 ページ、1 6 3 ページでございます。通知いたします。

5 款農林水産業費、1 項農業費でございます。

1 目農業委員会費、予算現額 1, 0 2 1 万 4, 0 0 0 円に対し、支出済額 1, 0 1 5 万 1, 0 2 3 円、不用額は 6 万 2, 9 7 7 円でございます。主な支出は、1 節報酬は、農業委員会における委員報酬 1 6 8 万 8, 4 0 0 円と、次のページをお願いいたします。1 8 節負担金、補助及び交付金、農業会議負担金 1 9 万 2, 0 0 0 円などでございます。

2 目農業振興費、予算現額 1, 4 7 0 万 7, 0 0 0 円に対し、支出済額 1, 3 3 0 万 3, 0 3 2 円、不用額は 1 4 0 万 3, 9 6 8 円でございます。支出は、7 節報償費 2 4 9 万 6, 0 0 0 円は、甘夏農家の地域おこし協力隊 1 名の 1 2 か月分の報償と、8 節旅費から 1 3 節使用料及び賃借料に関する支出の主なもの、国の交付金を活用いたしましたみどりの食料システム戦略緊急対策事業における有機農業産地づくり推進事業に係るもので、こちらにつきましては、農林振興係、野田係長より主要

施策の成果及び実績報告書にて説明をさせていただきます。

それでは、主要施策を通知いたします。

○野田水産農林課係長　それでは、実績報告書にて説明させていただきます。

58ページを御覧ください。

みどりの食料システム戦略緊急対策事業、有機農産地づくりについてであります。

事業の目的は、環境負荷を低減する有機農業を推進し、農作物の付加価値向上と新たな販路拡大を図り、持続可能な地域農業を目的としております。

内容は、3か年事業の初年度となる令和4年度につきましては検討会を設置し、生産から加工、流通、消費に至るまで幅広い意見聴取を行うとともに、専門家による有機栽培技術指導や有機農業資材の圃場実験を進めながら、尾鷲市有機農産地づくり実施計画の策定に取り組みました。

主な事業費は以下のとおりであります。需用費の127万1,669円につきましては、有機資材の圃場実験用資材、有機肥料、葉面散布酵素、かん水実験、草生栽培用種子等の実験用の資機材購入ですが、この需用費における不用額57万8,099円につきましては、専門家及び農業者と協議した結果、最終的な圃場実験の面積が少なくなったためでございます。

成果としましては、生産、加工、流通の三つの柱に13の取組を定めた尾鷲市有機農産地づくり実施計画を策定したことにより、今後も国の補助を受けながら、有機農業の普及を軸とした地域農業の活性化を進めていけるとともに、専門家による農業技術指導を通して、農業者の有機栽培技術の向上のみならず、営農意欲についても向上が図られたと思っております。

事業費、決算額は483万3,000円で、県支出金としてみどりの食料システム戦略緊急対策交付金481万2,000円、一般財源2万1,000円でございます。

説明は以上です。

○芝山水産農林課係長　決算書164ページ、165ページにお戻りください。通知します。

一番下、下段でございます。

18節負担金、補助及び交付金、支出済額555万7,190円でございます。主なものは、補助金の中山間地域等直接支払事業費補助金221万2,790円、これは、天満浦開拓農地における中山間地域での国の農業活動支援補助金、尾鷲市地域おこし協力隊活動費補助金150万円は、天満浦甘夏ミカンの地域おこし協力

隊への活動補助金、農業次世代人材投資事業補助金150万円は、三木里地区で営農をする新規就農者への就農初期段階5年間に対する補助金でございます。

次のページをお願いいたします。

3目農地費、予算現額256万2,000円、支出済額253万8,178円、不用額は2万3,822円でございます。

10節需用費173万8,000円は、小原野農業用水路修繕など農業用水路修繕5か所と、農道上岡線路側修繕など、農道3か所の修繕料でございます。

11節役務費75万1,178円は、雨駄農業用水路など11か所の農業用水路草刈手数料や曾根農道など4か所の農道草刈手数料でございます。

続いて、2項林業費でございます。

1目林業総務費、予算現額2,720万7,000円、支出済額2,661万8,425円で、不用額は58万8,575円でございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

13節使用料及び賃借料41万8,904円は、林地台帳のデータベースである三重県森林資源情報管理システムの使用料27万7,200円などでございます。

18節負担金、補助及び交付金78万円は、尾鷲林政推進協議会など、林業関係の7団体への負担金でございます。

続きまして、2目林業振興費でございます。予算現額5,277万5,000円に対し、支出済額4,672万3,355円で、不用額は605万1,645円でございます。主な支出は、7節報償費、支出済額346万7,000円は、ニホンザル53頭分、イノシシ34頭分、ニホンジカ325頭分に係る有害鳥獣捕獲奨励金でございます。

10節需用費226万7,456円のうち、消耗品費は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した市内幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校での地元産材活用支援事業としての木工用工作キットの購入で144万6,500円や、動物駆逐用火火など獣害対策に要する消耗品219万800円など、修繕料は獣害パトロール用車両の修理代でございます。

12節委託料、支出済額は2,025万1,000円で、不用額218万3,000円でございます。不用額は、森林経営管理事業における森林管理業務委託料での測定の距離が縮小したことによる委託料の減額189万4,000円などによるものでございます。委託料の内訳は、森林経営管理事業業務委託料1,618万1,000円は、森林環境譲与税を原資とした森林調査事業で、須賀利地区での測量、森

林調査 26ヘクタールと間伐 14ヘクタール、三木里地区での境界確認業務 115ヘクタールの委託料でございます。この森林環境譲与税による事業により、適切な管理が行われていない民間所有森林の手入れをし、市町村が仲介役となり、経営意欲の高い林業経営者につなぐことで、森林が持つ多目的、多面的な機能を十分に発揮させることを目的としております。流域防災機能強化対策事業業務委託料 330万円は、溪流沿いで適切な管理が行われていない民間所有森林において、流木や土砂災害を引き起こすおそれのある森林について、所有者と市が協定を結び、整備する事業でございます。昨年度は梶賀地区内において 2.14ヘクタールの間伐を行ったものでございます。

14節工事請負費 699万7,100円は、全額尾鷲みどりの基金事業による林道白浜谷線の舗装工事で、231.3メートルのアスファルト舗装を行ったものでございます。

17節備品購入費 23万494円は、森林環境譲与税による測量システム管理用のパソコン等の購入代金でございます。

18節負担金、補助及び交付金 1,307万5,000円のうち、人家裏危険木伐採事業補助金 78万5,000円は、全額みえ森と緑の県民税によるもので、人家、住民の安全性、財産などに対して危険性のある危険木の被害予防といたしまして、伐採経費の8割、50万円を限度額として、自治会や各区自主防災会などの組織に補助をするものでございます。昨年度は三木浦区、須賀利区の2団体に補助をいたしました。

次のページをお願いいたします。

尾鷲みどりの基金事業補助金 1,082万円は、全額尾鷲みどりの協会からの基金による森林組合おわせへの造林等の補助金でございます。不用額が 268万2,000円と多額なことは、尾鷲みどりの基金事業における森林組合おわせへの補助金の事業計画の変更に伴う減額 146万7,000円と、尾鷲産材活用促進補助金の残額 50万円、人家裏危険木伐採事業補助金の残額 71万5,000円でございます。

続きまして、林道開設改良費でございます。予算現額 4,124万4,000円に対し、支出済額 4,024万6,808円で、不用額は 99万7,192円でございます。主な支出は、10節需用費 367万7,720円のうち、修繕料 319万7,557円は、林道龍の谷線路肩修繕など 14路線の修繕料 307万4,500円と 4WD車両に係る修繕料 12万3,057円でございます。

12節委託料1,089万円は、農山漁村地域整備交付金事業として、市が管理をしております林道における橋梁の長寿命化を図る事業でございますが、そのうち測量・設計業務委託料267万3,000円は、林道矢ノ川線橋梁長寿命化に係る測量設計委託、林道橋点検健全性評価業務委託料557万7,000円は、10年に一度計画を見直すための全ての林道橋の点検業務の委託料、また、林道橋長寿命化修繕計画策定業務委託料264万円は、その点検結果に基づいて修繕計画を策定する業務委託料でございます。

14節工事請負費1,899万8,100円は、農山漁村地域整備交付金事業での林道矢ノ川線橋梁長寿命化のための補修工事費983万4,000円と、一般林道整備事業における林道大根須賀利線アスファルト舗装工事178メートル分と、のり面改良工事で916万4,100円でございます。

続きまして、3項山林事業費でございます。

1目管理費、予算現額1億2,761万円に対し、支出済額1億2,714万9,868円で、不用額は46万132円でございます。

主な支出は、次のページをお願いいたします。

10節需用費は、FSC森林管理認証に係る安全対策用消耗品の購入と、作業用トラック、公用車の車検等に係る修繕が主なものでございます。

12節委託料7,674万3,100円のうち、みんなの森プロジェクト推進業務委託料1,320万円は、プロジェクト全体を企画立案、進行管理全般を行う一般社団法人Next Commons Labへのディレクション委託料、一つ飛びまして、森林整備業務委託料3,174万7,100円は、国立研究開発法人、森林整備センターによる、いわゆる公団造林としての水源涵養や土砂流出防止を目的とした水源林造成事業で、全額森林整備センター負担の間伐等を行う事業でございます。この事業は、間伐した材で搬出可能なものは市場に流通をさせており、その収益の4割は森林整備センターに、残りの6割は尾鷲市に分収されるというものでございます。本市におきましては、経費を全額負担していただいて、水源涵養、森林整備をしてもらえる上に、利用間伐収益の6割を頂けるという大変ありがたい事業でございます。なお、昨年度の本市への間伐収入は176万7,470円でございます。

列状間伐及び植付業務委託料からガンガゼ除去作業委託料までは、昨年度のヤフー株式会社様からの企業版ふるさと納税による事業でございます。みんなの森での利用間伐や植付け、伐採跡地への獣害防護柵の設置などの森林業務委託。なお、補

正予算の際に中村委員からバイブスの森への獣害柵の設置の御質問をいただきましたが、その柵の設置はこの予算から支出をさせていただいているものでございます。

生物多様性調査業務委託料は、公益財団法人日本自然保護協会へのみんなの森の生物量調査委託、森林ふれあいゾーン空間デザイン及び森林整備業務委託料は、みんなの森への土壌改良や水脈づくりをしながら、生物多様性と林業の両立する森のモデルとなる森林整備を行っているものでございます。

ガンガゼ除去作業委託料は、みんな森プロジェクトでのブルーカーボンの取組としての九木漁港内での藻場再生の委託料でございます。

13節使用料及び賃借料163万1,439円は、市有林管理を行う当課山林作業員の車の借上料、チェーンソーなどの機械借上料などでございます。

14節工事請負費81万7,300円も、同じくヤフー株式会社様からの寄附によるみんなの森の駐車場整備でございます。

18節負担金、補助及び交付金104万7,100円のうち、FSCグループ認証負担金84万4,800円は、同グループ認証を継続するための負担金でございます。

続きまして、4項水産業費でございます。

1目水産業総務費は、全て職員人件費でございます。

次のページをお願いいたします。

2目水産振興費、予算現額2,303万4,000円に対し、支出済額2,139万4,857円で、不用額は163万9,143円でございます。

2目水産振興費での事業は、アオリイカ産卵床事業、後継者育成事業、藻場再生など、水産多面的機能事業、ヒロメ、マガキなどの藻類・二枚貝養殖普及事業、料理教室などの水産物普及啓発事業が主な事業で、10節需用費に係るものは、これらの事業における消耗品費や車両燃料費、修繕料でございます。

11節役務費118万8,706円のうち、間伐材運搬等手数料9万9,000円は、アオリイカ産卵床用のヒノキ材の運搬手数料、漁獲量調査手数料19万2,000円は、市内の漁獲量を三重外湾漁協に調査をさせていただいている手数料でございます。血液検査手数料84万4,712円は、国の補助を受けて取り組んでおります養殖魚健康増進支援事業での養殖マハタ等の血液検査に係るもので、この事業につきましては後ほど係長より説明いたします。

12節委託料471万8,767円は、地元水産物活用支援事業委託料として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市内の幼稚園、保育園、

認定こども園、小学校、中学校の給食の材料として尾鷲市で水揚げされる水産物を確保し、納品する委託で、おおむね月2回程度、幼稚園、保育園、認定こども園では年間19回、小学校、中学校で年間11回の養殖マダイ、養殖マハタ、天然ブリ、養殖ブリなどを水産事業者支援と魚食普及、食育を兼ねて行った事業でございます。

次のページをお願いいたします。

尾鷲市漁業体験教室業務委託料9万8,000円は、九鬼大敷、早田大敷でのそれぞれ1名ずつの定置網漁体験や漁村生活体験などの委託料でございます。

13節使用料及び賃借料68万7,616円のうち、エアボンベや船舶の借上料は、アオリイカ産卵床設置事業やガンガゼ駆除による藻場再生事業、尾鷲湾、賀田湾の毎月の水質検査に係る用船代などでございます。

18節負担金、補助及び交付金、支出済額は1,331万2,482円で、主な支出は、負担金として、カサゴ放流事業負担金53万円は、カサゴ稚魚1万尾の放流に対する負担金、水産多面的機能発揮対策事業負担金44万4,000円は、尾鷲、九鬼、早田、三木浦で行っております藻場再生事業におけるガンガゼ除去などの活動に対する負担金でございます。特定海域展開事業負担金157万5,000円は、ヒラメ種苗3万7,500尾の放流、地域展開促進事業負担金49万9,000円は、マダイ5万尾の放流、資源回復計画促進事業負担金49万6,000円は、トラフグ1万5,500尾の放流に対する負担金でございます。漁業共済事業負担金217万7,740円は、漁業者の漁業災害補償法に基づく共済制度で、赤潮特約事業について該当する掛金の9分の6を国が負担し、9分の2を県、9分の1を市が負担する制度によるものでございます。補助金は、一番下の漁業設備整備・更新事業補助金553万4,000円、これは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した、コロナ禍を乗り越え、水揚げ量の増大や機能の充実に努めることを目的とした尾鷲魚市場の水揚げ時に使用する水槽タンク50個やトラッククレーン1台の購入など、三重外湾漁協の1,106万9,749円の事業費に対する約2分の1の補助金でございます。その他は例年と同じ各種団体事業に対するものでございますが、コロナ禍の影響によりイベント開催や先進地視察等、例年どおりの活動ができていないものにつきましては、その分を差し引いた額となっております。

それでは、養殖魚健康増進支援事業につきまして、主要施策の成果及び実績報告書にて、水産振興係、竹内係長から説明をさせていただきます。

○竹内水産農林課係長      それでは、養殖魚健康増進支援事業について御説明いたします。

本事業は、事業の目的の欄でございますが、養殖マハタ、シマアジの主に健康な魚づくりのための養殖技術の向上を目的としております。

事業の内容の欄を御覧ください。

(1) 飼育管理状況や生残状況の聞き取り、(2) 体表寄生虫の計数及び粘液量の検査、(3) 血液検査等による健康診断を実施し、結果を取りまとめ、(4) 防疫体制の普及・啓発を図りました。

事業費は、旅費4万9,360円、需用費として、検体代59万2,370円、試薬、消耗品代30万7,235円、役務費として、養殖魚の血液検査手数料84万4,712円です。

事業成果の欄を御覧ください。

採血と体表寄生虫の採取を5月から6月、7月から8月、9月から10月の3回において行いました。また、6月29日に生産者の会合を開き、専門家による講演を開きました。3月8日にウェブ報告会で発表を行い、専門家等の意見、評価をいただいたところであります。

事業費179万4,000円のうち、国庫支出金が121万8,000円、一般財源が57万6,000円でございます。国の補助事業としての期間は今年度までとなっており、今年度は調査の継続に加え、ハダムシ対策に向けた大学との共同研究を実施しているところです。

説明は以上です。

○芝山水産農林課長 決算書176、177にお戻りください。通知します。

一番下の段でございます。

3目漁港管理費、予算現額496万4,000円に対し、支出済額443万8,141円で、不用額は52万5,859円でございます。主な支出、10節需用費203万7,001円のうち、修繕料は、大曾根浦漁港の岸壁修繕など、市が管理する漁港施設に係る10件分の修繕料でございます。

次のページをお願いいたします。

12節委託料のうち、整備点検業務委託料158万4,000円は、市が管理する漁港防潮扉の法定点検業務委託でございます。

続いて、4目漁港建設費、予算現額1億928万9,000円に対し、支出済額は9,707万5,387円、翌年度繰越額として、繰越明許費が1,188万円で、不用額は33万3,613円でございます。繰越明許費1,188万円は、昨年度の水産基盤ストックマネジメント事業において、九木神社前の九木漁港係留突堤のチ



ェーン取替え工事で生じた差金を九鬼駅前の岸壁工事に充て、14節工事請負費として繰り越したものでございます。

12節委託料408万1,000円のうち、積算業務委託料128万7,000円は、令和4年度にて補正計上をいたしました水産基盤ストックマネジメント事業による九鬼駅前岸壁補修工事に係る積算業務委託料でございます。同じく積算業務委託料の繰越明許費分279万4,000円は、同じく九木漁港でのストックマネジメント事業で、令和3年度から4年度に繰り越した分の駅前岸壁の積算業務委託料でございます。

14節工事請負費、支出済額8,433万4,300円で、繰越明許費1,188万円は、先ほどの説明のとおりでございます。支出済額8,433万4,300円の内訳は、先ほどからの九木漁港ストックマネジメント事業による工事請負費分が4,734万2,400円、そのほかの工事といたしまして、漁港整備事業として、古江漁港の防潮扉改良工事で2,157万2,100円、これについては、新規事業につきまして、後ほど基盤整備係主幹が主要施策の成果及び実績報告書にて御説明いたします。また、県単漁港改良事業といたしまして、大曾根浦漁港西網干場の舗装工事252万1,200円でございます。工事請負費の繰越明許費分1,289万8,600円は、九木漁港でのストックマネジメント事業による、先ほどの令和3年度から4年度に繰越しをした繰越明許費分の工事請負費でございます。

それでは、令和4年度の漁港整備事業につきまして、主要施策の成果及び実績報告書にて、基盤整備係、岡田主幹から説明をさせていただきます。通知します。

○南委員長　　ちょっと待ってください。

10時30分にJアラートの予告放送と、11時ジャストにJアラートの予告放送、2回ありますので、急遽中断させていただきますことを御了解お願いいたします。

○岡田水産農林課主幹兼係長　　実績報告書78ページについて説明させていただきます。

事業名、漁港整備事業。

事業の内容は、古江漁港N o . 1 防潮扉改良工事になります。有事の際に使用可能な状況を維持するため、毎年市内漁港施設に設置している樋門及び防潮扉33基分の点検業務委託を発注しており、その点検において不具合や整備が必要な箇所の補修工事を行ったものであります。

事業費は2,009万3,700円で、このうち古江漁港N o . 1 防潮扉改良工事

に伴う工事費用は2,009万3,700円、財源内訳は、その他特定財源2,000万円、一般財源9万4,000円であります。

説明は以上でございます。

○南委員長 　　少しJアラートのため中断いたします。

(休憩 午前10時29分)

(再開 午前10時32分)

○南委員長 　　委員会を再開いたします。

○芝山水産農林課長 　　それでは、決算書はページをずっと後ろに飛びまして、236ページ、237ページをお願いいたします。よろしいですか。

10款災害復旧費、1項農林水産業施設災害復旧費、1目現年発生農林水産業施設災害復旧費でございます。予算現額200万円に対し、支出済額がゼロで、全額不用額でございます。これは、当課に関する施設の災害復旧費でございますが、昨年度は幸い該当がなかったことから支出がなかったものでございます。

以上で当課に係る決算説明を終わらせていただきます。よろしく御審議賜り、御承認くださいますようお願いいたします。

○南委員長 　　ありがとうございます。

水産農林課関連の一般会計歳入歳出決算の認定の説明は以上でございます。

御質疑ある方。

○中村委員 　　決算書の171ページの委託料のところちょっと教えていただきたいんですけども……。

○南委員長 　　141。

○中村委員 　　171。12節の委託料で、これって、林道に架かる橋って計何本ですか。

○岡田水産農林課主幹兼係長 　　すみません。また後ほど答えさせていただきます。

○芝山水産農林課長 　　林道自体は全部で30路線ございます。そこに架かる橋梁全てということで、正確な本数につきましては後ほど、すみませんが回答させていただきます。

○中村委員 　　この測量から始まって、長寿命化の設計までは全部……。

○南委員長 　　ちょっと中断します。

(休憩 午前10時33分)

(再開 午前10時35分)

○南委員長 すみません。度々中断するおそれがありますので、よろしく願いいたします。

それでは、係長、お願いいたします。

○岡田水産農林課主幹兼係長 すみません。先ほど、中村委員からの御質問にお答えさせてもらいます。

39橋になります。全てで。

○中村委員 測量からあれまでの業務委託は何社に発注されていますか。

○岡田水産農林課主幹兼係長 随意契約で、三重県建設技術センターでお願いしてもらっています。

○中村委員 それでは、173ページの12節委託料、みんなの森プロジェクトのこれに関わってみえる職員というのが何人関わってみえるのかと、尾鷲の人が雇用されているのか教えてください。

○芝山水産農林課長 まず、このプロジェクトに関わっている職員数ということでございますが、主幹、それから、進行管理をさせていただいておりますのは水産農林課当課でさせていただいております。このプロジェクトの中で、庁内で随時打合せをさせていただいている課といたしましては、政策調整課、それから、環境課、現在は防災危機管理課、また、あとは教育委員会でございます。そこで随時それぞれ該当する業務というものがございます。例えば環境課でありましたら環境基本計画に基づく内容との照らし合わせであったりとか、そういったことを随時業務では庁内で打合せをしながら進めさせていただいております。

それと、この業務の中での委託料の中で、市内に関係するところという内容だったかと思いますが、まず、森林列状間伐とか植付業務、また、地ごしらえというのは地元で入札をした結果、地元の森林組合にお願いしているものでございます。それと、あとはガンガゼの除去の作業業務というのも地元のダイバーの皆様方にお願いをしているものでございます。あとは、森林整備業務委託料、みんなの森プロジェクトとは違います公団造林でございますが、こちらの森林整備業務につきましても、入札により地元の森林組合にお願いしているものでございます。生物多様性調査業務につきましても、ちょっと専門性が高いということで、随意契約にて公益財団法人日本自然保護協会のほうに委託をしているというものでございます。

以上です。

○南委員長 課長、実績報告になりますもので、できたら主要施策のあれについ

て説明をしていただくとよく分かるんですけれども。ほんなら、お願いします。

○中村委員 みんなの森プロジェクト推進業務委託料が1,320万円払われていて、それが尾鷲の人が何人関わっているのか、職員がおられるのかをお尋ねしたんですけれども。

○芝山水産農林課長 失礼しました。

みんなの森プロジェクト推進業務委託料の1,320万円につきましては、一般社団法人Next Commons Labに全体の進行管理または企画振興というものを、全体の業務管理を行っていただいているという委託料でございます。このプロジェクト全体に対して関わっている職員というのは、先ほど私が説明させてもらった各課で対応させていただいています。

○中村委員 森林ふれあいゾーン空間デザイン及び森林整備業務委託料に関しては、これもNext Commons Labに委託されているんですか。

○芝山水産農林課長 こちらの森林ふれあいゾーンにつきましては、生物多様性の森林づくりということをテーマにプロポーザルをいたしまして、これは北関東のほうで活動しています業者が、プロポーザルの結果、ここにお願いしているというものでございます。

○中村委員 名前、教えていただけますか。

○芝山水産農林課長 株式会社やまなり、平仮名でやまなりという株式会社でございます。

○南委員長 他にございませんか。

○小川委員 主要施策の成果のところの76ページなんですけれども、非常に詳しい検査とかやってもらっているみたいなんですけど、結果として成果は上がっているんですか。魚病が減ったとか。

○竹内水産農林課係長 成果といたしましては、魚病につきましては、実は昨年度、御存じのとおり水温も高くて結構魚病の被害、ありました。今年も水温、高いですので、実際、今被害、出始めております。

昨年度の成果を踏まえてですけれども、やはり体表についた寄生虫というのが今までにないぐらいの被害が出ましたので、生産者さんたちもそれを軽減するための工夫をされていて、今年は去年になかった取組として、ハダムシという寄生虫を落とすようなやり方を私どもと県の水産研究所と一緒にやってやった効果なんかを、実は7月にモニタリングをさせてもらいました。一定の効果は出ているんですけれども、それでもやはり被害、完全にゼロというわけではございません。なので、今

年度をまた踏まえて、専門家の意見をいただきながら、来年度以降はどういったタイミングでどのぐらいの回数をやったらいいのかというのをまた協議して、そういった対策、マニュアル化できたらと考えております。

以上です。

- 小川委員　　ハダムシ対策として経口薬を投薬するとか、あとは消毒とかありますけど、どっちを重点に置いてやられたんでしょうか。
- 竹内水産農林課係長　　昨年度、経口駆虫剤というものを投薬して、実はそれというのは元気な餌を食べる魚にしか効かないというのもありますし、コストも結構かかります。なので、薬浴、皆さん、消毒というやつですけれども、過酸化水素の薬浴というのが対処法として認められておりまして、それに従った方法を今年は主にしております。
- 小川委員　　魚病に対していたちごっこの部分があって、また新たなウイルスが出てきたりとか、人間も一緒ですけど、どんどん出てきて、何かシマアジではもう7割死んでしまったとか、そんな話もあるんですけども、今後シマアジとかマハタとか、養殖、大丈夫かなと思うんですけど、その点はどのようにお考えですか。
- 芝山水産農林課長　　養殖魚健康増進支援事業のほうでは、令和4年度、令和5年度、2か年にわたって事業をしているわけですけれども、令和4年度で、あらゆる現行の飼育の仕方の調査をさせていただきました。そこでへい死率なども調べて、そこでどういう飼いが一番効果があったか、効果がいいのか、いい成績が出ているのかというところを調べて、そこで仮説を立てております。その仮説に基づいて、令和5年度はその仮説が本当にいい効果を得ているのかという、今現在その実証実験をしているというところです。ですので、今年度末には令和4年度で立てた仮説、それから、その仮説に基づいて今年度実験をしている内容、その結果というものを取りまとめた上で、先ほど、いたちごっこである部分はあるかと思いますが、それでも現在の、少なくともハダムシ等の寄生虫によるへい死というものに対しては、こういう飼育の仕方が一番いいんじゃないかということマニュアルにまとめて、これは国の専門委員もこのメンバーの中に入っていますので、その報告書が国にも上がって行って、それがいろんな業界であったり、餌の会社も含めて、そういうところに伝わっていくというようなベースになる事業だと思っております。ですので、ここでの仮説がどこまで今年度の実験結果でいい結果が得られるものかというのは、まだやってみないと分からないところはありますが、そういうところで、来年度以降の飼育の仕方についてもちょっと期待はしているところでございます。

○小川委員 尾鷲だけじゃなくて全国的に、多分愛媛であったり、出ていると思うんですけど、愛媛大学の情報とか、近畿大学の情報とかも全部、尾鷲にも入ってくるんですか。

○芝山水産農林課長 検討委員会のほうには、そういう例えば寄生虫の専門家の先生であったりとか、あとは餌の関係の専門家であったりとか、また、国の水産研究所のメンバーであったり、そういった方々が入っていらっしゃいますので、年1回、2回のそういう、今はオンラインも含めてなんですけど、打合せの中でそういう情報を共有しながら、また、外部の情報なんかもその先生方によって情報共有していただけるということでございます。

○南委員長 よろしいですか。他にございませんか。

○仲委員 農林水産業、水産農林課の決算をちょっと振り返ってみますと、林ではみんなの森プロジェクトが3年度からスタートして、4年度、本格的になったと。それから、森林経営管理事業も3年度からスタートしたけど、4年度で予算的には大きくなったと。もちろん市有林の管理もあるんですけど。水産では、水産物の水揚げとか、養殖の関係で力を入れておると。あとは、農ではみどりの食料システム戦略緊急対策事業が4年度からスタートしたと。各担当をずっと見ると、頑張ってくれとるなど評価をしたいと思います。予算的にも3年度と4年度と比較すると、決算上、1億1,000万ぐらい増えていますね。この金額を見たとしても、職員の方は大変だろうなというような感覚を受けています。今後も期待したいんですけど。

質問ですけど、一つ、みどりの食料システム戦略緊急対策事業については、私も、立体栽培にかなり興味を持って、イベントなりフォーラムに参加をしております。そこで、三重県の県の職員の方も多数見えておりました。その関係上のことで、県の農業研究所とか、県の農林水産部との有機農業への推進の意欲とか推進というのはどのように担当課は考えられていますか。

○芝山水産農林課長 そもそもみどりの食料システム戦略での有機栽培を進めていただいたのも、県の職員さんから、尾鷲は甘夏を中心にこういう取組をぜひやってみたらどうかと。また、県のほうは補助申請から、もちろん毎回毎回の現場への同行も含めて物すごくバックアップをすごくしていただいております。

一方で、県含め、東海農政局、農林水産省の中で、この地域は東海農政局というところの管轄になるんですけど、東海農政局の職員、また、農林水産省本省の職員さんもこちらのほうに、現場のほうにも直接この事業を見学に来ていただきまして、

東海エリア管轄の中でも、こういう生産者から消費者まで全部一貫したつながりを持って取り組んでいる事業というのはなかなか例がないということで、ぜひともモデルとしても頑張ってもらいたい。規模が小さいからできるというのも実はあるんですが、小さいながらもそういうモデルになるということで注目をいただいている、応援していただいているものでございます。

○仲委員 県内各市でも多分、みどりの食料システム戦略緊急事業、推進しておるところもあると思うんですわ。そこらの市町との情報交換も含めて、特に情報発信を、尾鷲市ではこういうふうにやっていますよ。今先ほど説明がありましたので、国とか県の。安心をしていますけど、より以上に発信をお願いしたいと。

○芝山水産農林課長 こちらも国のほうがすごく誘導、アドバイスしてくれておりました、今年度、オーガニックビレッジという取組になります。有機の取組をしている自治体はオーガニックビレッジという国の制度に指定されております。その宣言をぜひ首長にしてほしいということで、昨年度開催して好評でしたマルシェを今年度も2月ぐらいを予定はしているんですが、そのマルシェの会場でオーガニックビレッジ宣言という宣言をした上で、それを農林水産省を通して全国的に尾鷲もこういう取組をしていますというのを普及させていきたいと、発信したいと思っています。

○南委員長 他にございませんか。

○小川委員 決算書の173ページ、ガンガゼ駆除作業委託料のところなんですけど、102万2,400円の委託料。委託しているのは漁師の方に委託しているわけですか。

○芝山水産農林課長 こちらは九木漁港ということで、九木漁港の中で営んでいただいていますダイビングの方をお願いをしています。また、漁師の皆さんも一緒に出ていただいて作業していただいております。

○小川委員 海の中で潰して殺すんですよね。違っていませんか。

○竹内水産農林課係長 おっしゃるとおりで、海の中で潰して海中で魚の餌などに利用されております。

○小川委員 ガンガゼ、ただ殺したらそのままですけど、これを商品開発できると思うんですけれども、それを揚げて、ミンチをかけて、ミンチみたいにして冷凍すればインダイの餌になると思うんですけど、餌屋さん、それ、欲しがっていますよね。商品開発で漁業者の方の副収入ということで、ちょっと進めたらいいんじゃないかと前から言いよったけど、なかなか進まん部分があつて、これを取って餌に

して売っているところもあるので、殺すんだったら商品開発できるんじゃないかと思うんですけど、いかがでしょうか。

○竹内水産農林課係長　確かにそういったことも聞いておりますし、そういったガンガゼを取られているという漁業者も実際おみえだというのは存じ上げております。ただし、この事業、みんなの森の中もそうですし、水産庁の事業である多面的の事業のほうでずっと取り組んでいるんですけれども、目的としては藻場の再生というところがありますので、一番効率よく短時間でたくさんガンガゼを除去するという行為ですと、やっぱり海中で潰してしまうのが一番早いので、この事業の中ではこういったやり方をさせてもらっております。ただし、餌の利用というのでも聞くので、もしそれで魚業者の副収入になるのであれば、そういったこともやっていただけたらなと実際思います。

○小川委員　販売のルートだけでも水産農林課のほうでつけてやれば、すぐ出てくるんじゃないですか、そういう人も。

○芝山水産農林課長　今係長のほうから申しあげましたように、ガンガゼ除去の事業というのは実は二つの事業で、水産多面的という国の制度に基づいて行っている事業と、みんなの森のプロジェクトでのガンガゼ駆除というのは、ヤフーさんのほうからお金を頂いて、別途それにプラスしてやっているという事業でございますので、国のほうのルールは先ほど係長申しあげたように、効率よく藻場を再生するためにたくさん除去するというのがルールになりますが、ヤフーのほうの取組などが、みんなの森がもしこういう除去作業が今後、また寄附などを頂けて継続することができるのであれば、そちらのほうからちょっと、今、先ほど申しあげられたような別のアプローチはしてみてもいいかもしれないというふうにちょっとお話を聞きながら思いましたので、またそちらのほう、そういうルートがあるか、また、どういうところが弊害になるのかは、ちょっと調べさせていただきたいと思います。

○南委員長　よろしいですか。他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○南委員長　ないようですので、水産農林課の審査をここで終わりますけれども、1件ちょっと農林水産に関わる問題で報告事項があります、私のほうから。

皆さんおなじみだと思うんですが、8月の末にゼロカーボンによる新聞報道があったと思うんですけれども、株式会社の、東京の新宿区を拠点とするS I N R Aさんという会社が尾鷲市の二酸化炭素をトン7,500円程度やったですか、といったことで販売して、手数料としてそのうち1,500円を手数料で取って、残りの



6,000円は山林測量だとか、一方ではLocal Copさんのほうへ3,000円が折半されるということなんですけれども、難しい話ですので、また時間を見て委員会を開催して、しっかり説明をしていただく予定でありますので、よろしくお願いいたします。

御苦労さまでございました。ここで10分間休憩します。

(休憩 午前10時54分)

(再開 午前11時05分)

○南委員長 それでは、休憩前に引き続き委員会を続行いたします。

次に、商工観光課に入ってくださいました。

議案第46号の所管の説明をお願いいたします。

○山中商工観光課長 商工観光課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第46号、令和4年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、商工観光課に係る決算状況につきまして、決算書を基に、主要施策の成果及び実績報告書も併せて御説明をさせていただきます。

決算書の180、181ページを御覧ください。通知いたします。

○南委員長 お願いします。

○山中商工観光課長 5款農林水産業費、4項水産業費、5目海洋深層水事業費でございます。予算現額1,696万5,000円に対し、支出済額は1,619万2,684円で、不用額は77万2,316円でございます。支出済額の主なものとして、10節需用費は、支出済額793万8,092円で、光熱水費416万2,839円はアクアステーションにおける電気代等でございます。不用額につきましては、光熱水費等が見込みを下回ったためでございます。

12節委託料は、支出済額691万4,840円で、主なものとして、取水した海洋深層水に係る水質検査委託料176万円、海洋深層水分水に係る海洋深層水施設機器保守点検業務委託料462万円でございます。

内容につきましては、担当係長より説明をさせていただきます。

○川崎商工観光課係長 通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書79ページを御覧ください。

海洋深層水事業は、尾鷲海底谷より深層水を取水しており、3大特性を活用し、水産業の振興を進めるとともに、その他利用の事業者等の開拓を行い、地域経済の活性化を図ることを目的としております。

令和4年度の主な事業内容でございますが、利活用促進といたしまして、お客様と海洋深層水との距離をより近くするため通信販売事業を実施し、同時に情報発信を行い、マリンアクアリウム・インフルエンサー事業を実施し、海水魚等を飼育するインフルエンサーのSNSによりPRを行い、固定客も獲得しました。また、取水施設であるアクアステーションに関しましては、適正な運営管理を行うとともに、海水淡水化装置RO膜の交換を実施し、安定して海洋深層水を分水することができました。

全体事業費といたしましては1,619万3,000円、財源内訳は、その他特定財源249万2,000円、一般財源1,370万1,000円で、その他特定財源は、深層水の使用料233万2,000円などとなっております。

説明は以上です。

○山中商工観光課長 決算書の180、181ページへお戻りください。通知いたします。

6款商工費、1項商工費、1目商工総務費につきましては、全て人件費でございますので、説明を割愛させていただきます。

2目商工振興費でございます。予算現額3億1,395万円に対し、支出済額は3億746万1,755円で、不用額は648万8,245円でございます。支出済額の主なものといたしまして、12節委託料、支出済額2億8,600万6,500円、商品券発行事業業務委託料で、事業内容といたしましては、尾鷲市地域振興券及び尾鷲市プレミアム付商品券発行事業でございます。本事業は地方創生臨時交付金を活用し、コロナ禍により影響を受けた市内経済の活性化を促すことを目的に商品券を発行する業務委託料でございます。不用額510万3,500円につきましては、未換金が発生したためでございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額1,158万6,973円でございます。内容といたしまして、尾鷲市地域経済活性化協議会負担金361万3,000円など、各種関係団体への負担金及び尾鷲商工会議所及び中小企業相談所補助金360万円などの各種補助金でございます。なお、不用額82万5,027円に関しましては、尾鷲市小規模事業者振興資金利子補給金等が見込みを下回ったためでございます。

内容につきましては、担当係長より説明をさせていただきます。

○川崎商工観光課係長 通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書80ページを御覧ください。

商工振興事業につきましては、尾鷲商工会議所などと連携し、企業経営の強化支援や経営支援などを行い、地域経済の活性化を図ることを目的としております。

事業としては、保証料補給金や利子補給金の交付、セーフティネットの認証作業を進めるなど、地域企業の安定的な経営への支援を実施するとともに、地域創生臨時交付金を活用して全市民に7,000円と5,000円の商品券を交付した尾鷲市地域振興券事業、プレミアム率30%の尾鷲市プレミアム付商品券事業、また、事業者等への支援として尾鷲よいとこスタンプ会補助金などを交付いたしました。

事業成果といたしましては、これらの事業の実施により、コロナ禍に柔軟に対応した事業を実施することで、事業者の経営安定や企業経営支援を実施することができました。

全体事業費といたしましては3億144万9,000円、財源内訳は、国庫支出金2億6,398万1,000円、県支出金3万1,000円、その他特定財源3万7,000円、一般財源3,740万円でございます。国庫支出金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、県支出金は南部地域活性化事業補助金、その他特定財源はあすなる工房使用料でございます。

次に、産業開発促進事業を説明いたします。

次ページを御覧ください。

産業開発促進事業は、市内事業者の皆さんや関係団体と連携して市内事業者の販路開拓を支援することで、業界の発展や地域産品の情報発信に努めるとともに、消費者へのPRやマーケティング調査を実施し、地域経済の活性化を図ることを目的に事業を推進しております。昨年度に関しましては、本市、尾鷲商工会議所、紀北信用金庫、尾鷲公共職業安定所、株式会社三重ティエルオーの産・官・学・金・労等で組織する尾鷲市地域経済活性化協議会を発足させ、地域事業者伴走型支援事業やウェブでの販路拡大支援、動画の作成による本市の魅力を発信し、スーパーマーケット・トレードショーなど全国規模の商談イベントに出展することで県外への販路開拓を行うなど、販路拡大に向けた事業を進めてまいりました。

全体事業費といたしましては601万3,000円、財源内訳は、国庫支出金371万6,000円、一般財源229万7,000円で、国庫支出金は、地方創生推進交付金183万4,000円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金188万2,000円です。

説明は以上です。

○山中商工観光課長 決算書の184、185ページへお戻りください。通知さ

せていただきます。

次に、3目観光費でございます。予算現額5,206万7,000円に対し、支出済額は4,854万8,332円で、不用額は351万8,668円でございます。支出済額の主なものは、7節報償費85万円は、地方創生臨時交付金を活用し、三重県が実施するみえ安心おもてなし施設認証制度の普及促進を図り、本市への集客交流人口の増加を目指した尾鷲市あんしんみえエリア取得推進応援金でございます。なお、不用額65万円につきましては、予算額として最大認証取得数を計上いたしましたが、その見込みを下回ったことが原因でございます。

10節需用費は、支出済額1,056万210円で、主に観光トイレ14か所分などの光熱水費206万6,864円、夢古道おわせや観光トイレの修繕料817万7,484円でございます。

11節役務費は、支出済額560万198円で、主に観光トイレ等の浄化槽保守点検等手数料331万7,900円、誘導看板取替手数料108万7,900円でございます。

12節委託料は、支出済額1,186万5,847円で、次ページを御覧ください。主にウォーキング大会運営委託料160万円及び夢古道おわせ指定管理料773万9,000円でございます。なお、不用額58万153円につきましては、コロナ禍によりおわせふるさとガイド運営委託料の減額等があったためでございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額1,936万6,797円で、主なものは、東紀州地域振興公社負担金（観光DMO事業分）280万円、尾鷲観光物産協会補助金1,199万7,723円、尾鷲節コンクール補助金182万92円、おわせ港まつり補助金150万円でございます。なお、不用額129万7,203円につきましては、コロナ禍により事業計画どおり実施できなかったおわせ港まつり補助金、尾鷲観光物産協会補助金に返還が生じたことや、集客交流事業推進補助金が不要となったためでございます。

内容につきましては、課長補佐より説明させていただきます。

○世古商工観光課長補佐兼係長 通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書82ページを御覧ください。

それでは、観光費に係る観光振興事業、熊野古道活用事業、観光施設管理整備事業の三つにつきまして、主要施策の成果及び実績報告書により説明させていただきます。

観光振興事業につきましては、地域資源を活用しながら、観光施設や町なかでの

交流人口の増加と地域経済の活性化を図ることを目的に、関係団体と連携して事業を推進しております。

事業内容といたしましては、新規事業といたしまして、おわせ観光大使協力の下、本市の特産品を使った特産品パンフ1万3,000部を作成いたしました。三重観光連盟など関係団体へ負担金を支出するとともに、尾鷲観光物産協会などの団体や尾鷲磯釣大会など、イベントへ補助金を交付しております。

事業成果といたしましては、三重県が実施するみえ安心おもてなし施設認証制度の認証取得を推進するため、1件当たり5万円の応援金を支給し、観光事業者5件、飲食事業者12件、合計17件の認証取得につながりました。おわせ市民花火につきましては、市民の元気と活力を取り戻すため、がんばろらい尾鷲と題して花火の打ち上げを行いました。花火以外のイベントは行わず、屋台の出店もなく、あいにくの雨でしたが、1万5,000人の来場がありました。3年ぶりの開催となった尾鷲節コンクールについては、東海3県を中心に全国13府県の5歳から88歳までの101人が参加していただきました。また、約1,600人の来場がありました。

事業費につきましては2,074万2,000円でございます。

財源内訳は、国庫支出金469万5,000円、その他特定財源150万円、一般財源1,454万7,000円でございます。国庫支出金として、地方創生推進交付金140万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金329万5,000円、その他特定財源、ふるさと応援基金繰入金150万円でございます。

次に、熊野古道活用事業について御説明いたします。

次ページを御覧ください。

熊野古道活用事業につきましては、世界遺産熊野古道に関わる資源を活用し、ウォーキング大会の開催やおわせふるさとガイドの活動支援などを行い、熊野古道客の町なかでの滞留による交流人口の増加と、それに伴う地域経済の活性化を図ることを目的としております。

事業内容といたしましては、おわせ海・山ツアーウォークの開催や、熊野古道客をはじめとする来訪者に観光案内を行うおわせふるさとガイドの活動支援でございます。

事業成果といたしましては、3年ぶりにおわせ海・山ツアーウォークを開催し、大会2日目はあいにくの雨となりましたが、北海道から沖縄県まで32道府県から2日間で延べ374人の参加がありました。おわせふるさとガイドの会による土日

祝日のガイドで、熊野古道客や来訪者の滞在時間の拡大や満足度の向上を図りました。また、おわせ市民花火での観光案内、おわせ海・山ツーデーウォークの定点ガイドを実施いたしました。新型コロナウイルスの影響により4月、5月は活動を休止しましたが、この機会を活用し、ガイドのスキルアップ研修会を開催いたしております。

事業費は189万4,000円でございます。

財源内訳は、その他特定財源としてふるさと応援基金繰入金となっております。

続きまして、観光施設管理整備事業について御説明いたします。

次ページを御覧ください。

観光施設管理整備事業につきましては、来訪者の方々に憩いの場を提供するため、観光受入施設の充実を図ることで、観光施設や町なかでの滞留による交流人口の増加と地域経済の活性化を図ることを目的としております。

事業内容といたしましては、夢古道の湯各所設備機器部品取替修繕や指定管理者制度による適正な管理運営、市内観光トイレや公園等の維持管理を行っております。

事業成果といたしましては、夢古道おわせの不具合の出たドライサウナほかの修繕を行いました。夢古道の湯の入浴者数につきましては10か月間で4万5,230人となっており、コロナ前の75%ほどとなっております。

事業費は2,591万3,000円でございます。

財源内訳は、県支出金として、近畿自然歩道維持管理委託金77万2,000円と県単漁港環境整備事業委託金20万円、その他特定財源として、まちかどHOTセンター電気使用料28万円等で、一般財源が2,357万3,000円でございます。

説明は以上でございます。

○山中商工観光課長 以上で商工観光課に関する決算の説明とさせていただきます。御審議のほど、よろしく願いをいたします。

○南委員長 商工観光の決算説明は以上でございます。

御質疑のある方は御発言を。

○中村委員 成果報告の80ページの尾鷲よいとコスタンプの補助金は、内訳、お幾らですか。

○南委員長 これは50万やったか、そんなレベルじゃなかった。

中村委員、続けて。

○中村委員 分からなかったら、また後で……。

○川崎商工観光課係長　　すみません。補助金としては125万円です。

○中村委員　　すみません。もう一つ、イタダキ市の補助金も教えていただけますか。

○川崎商工観光課係長　　すみません。ちょっと待ってください。

○中村委員　　分かったらまた教えてください。

それと、次ページからなんですけれども、産業開発からずっとなんですけれども、媒体というのか、インフルエンサーを入れられる予定はないですか。紙ベースとか、商談に行っても今なかなか売上げとかが伸びひんと思うんですけれども、インフルエンサーが入ってくると本当にすごく違うなというのがちょっと実感した事例がありますので、考えていただけたらええなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○川崎商工観光課係長　　インフルエンサーというのは、具体的にどういうことですか。

○中村委員　　面白い企画を立てて、こんなんありますよ、来てくださいみたいなことを言うと結構来てくれるので、すぐに30万人とかが見てくれるので、いろいろ、例えば九鬼のオハイですか。ちょっと今オーバーツーリズムで問題になっているかもしれないんですけれども、それらを海から行ける、もっと簡単に行けるようなルートをつくって、それを売り込んでいくとか、紙ベースとか、自分のところで作ってしてもなかなか、インフルエンサーってすごい、もう組織立っていて、撮影から編集まですごいプロが来てやるので、ほんで結構無料なので、それをちょっと、すごい売り込んでいただけたらなと思うんですけれども。産業の開発でも面白いものがあったら食いついてくれるので。

○山中商工観光課長　　今、中村委員から御指摘というか、御提案のあった件につきましては、私どもとしても前向きに検討して行って、うちのほうで御協力いただけるインフルエンサーの方等があれば一緒にやっていきたいなど。また、アクアステーションのほうにつきましては、現在、商工のほうでカメラマンの方と一緒にちょっと取り組んで、そういった撮影のサポート的な形で取り組もうという動きも徐々にしておりますので、また御参考になるような意見ありましたら、また御提案、よろしく願いをいたします。

それと、委員長、すみません。先ほどのイタダキ市の補助金なんですけど、よろしいでしょうか。イタダキ市への補助金が12万5,000円でございます。

○中村委員　　インフルエンサーに引っかけられているかもしれないんですけれども、成果及び実績報告書の83ページの熊野古道活用事業というのがあるんですけれど

も、熊野古道と尾鷲トレイルの活用事業ということで、尾鷲トレイルというのをもうちょっと売り込んでいただきたいなと思うんです。尾鷲トレイルって普通の足で3日かかるんですけれども、あれをランで、何時間で走るみたいな苛酷なレースを、今すごくそういう苛酷なことについてすごいインフルエンサーというのは食いついてくれるので、例えば、尾鷲トレイルのランの大会を開くとか、すごく本当にいいコースですので、熊野古道に来た人、熊野古道もよく走ってみえる方がおられるんですよ、ランで。だから、そういうスポーツ的な取組というのを、よそでやっていないことはすごく食いついてくれるので、そういう企画も立てていただきたいので、熊野古道活用ではなく尾鷲トレイルも活用したような取組をやっていただけたらありがたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○世古商工観光課長補佐兼係長 おっしゃられるとおり、今、尾鷲市のほうではトレイルというのを活用した事業というのはやっていないんですけれども、実際活動してみえる方と、今年度からですけれども、お話合いの時間等を取らせてもらったりとかして、うちとしても何か、全くやりませんというのではなくて、何かのそういった可能性を探りながら、今ちょっとずつ取組を進めておる段階ではあるんですけど、まだ全然具体的なことは何もないんですけれども、そういった活動をされている方のお話を聞きながら可能性を探っていきたいなというふうに思っております。

○中村委員 この前新聞にも出ていたと思うんですけれども、結構有名なランナーの人が走っていて、そういうところにやっぱり食いついて、今からもっと積極的に、私らが何も普通やと思っていることは、よその人から見たらすごいええ資源であり、財産やもので、そやから、それをもう積極的にそこを保全してくれる人がいるんやったら、それとちゃんと組んで、それを商品化して売っていったら何ぼでするので、ぜひ、もっと積極的に前向きにやっていっていただけたらと思います。

○山中商工観光課長 尾鷲人のほうにも任用をさせていただいている土井さんというトレイルランの日本での第一人者の方がいらっしゃいます。そういった方にも御協力を仰ぎながら、市内関係する団体皆さんともお話しして、ちょっと取組を考えさせていただきます。

○南委員長 他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○南委員長 それでは、ないようですので、商工観光課の審査を終了いたします。ありがとうございました。



次に、建設課に入ってください。

それでは、建設課に入ってくださいました。

議案第46号の一般会計の決算の説明をお願いいたします。

○塩津建設課長 建設課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第46号、令和4年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、建設課に係る歳出決算について説明いたします。

通知をいたします。決算書の162、163ページを御覧ください。

4款衛生費、4項下水道費、1目下水道整備費で、予算額235万円に対しまして、支出済額231万円で、不用額4万円です。内訳は、10節需用費の支出済額が131万100円です。内容は、市内下水路の修繕料8件分でございます。

11節役務費の支出済額が99万9,900円です。内容は、市内下水路の修繕等に係る手数料4件分でございます。

通知をいたします。決算書の186、187ページを御覧ください。

7款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費で、予算額3,662万4,000円に対しまして、支出済額3,578万4,634円で、不用額83万9,366円です。内訳は、1節報酬の支出済額ゼロ円です。これは、尾鷲湾濁水問題協議会開催に係る報償費2名分を予算計上しておりましたが、令和4年度の開催、ございませんでしたので、不執行となったものでございます。

次に、188、189ページを御覧ください。次ページでございます。

8節旅費の支出済額が31万3,160円で、内容は普通旅費でございます。

10節需用費の支出済額が70万3,331円です。主な内容は、燃料費28万2,445円及び公用車のタイヤ及び車検に伴う修繕料20万6,644円でございます。

11節役務費の支出済額が13万7,813円です。主な内容は、通信運搬費6万7,733円でございます。

12節委託料の支出済額が389万4,000円です。内容は、地籍調査業務委託料で、古里・天満ノ上において地籍測定及び地籍図、地籍簿等の作成、閲覧を行ったものでございます。

13節使用料及び賃借料の支出済額が107万8,405円です。内容は、複合機使用料24万3,485円、土木積算システム利用料83万4,920円です。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額116万5,000円です。主な内容は、紀勢自動車道建設促進三重県期成同盟会会費28万円、三重県社会基盤整備協

会費 65万5,000円で、その他、各協会、協議会、同盟会への会費及び負担金でございます。

次に、次ページ、190、191ページを御覧ください。

26節公課費の支出済額が6,600円です。内容は、建設課管理の公用車車検に伴う自動車重量税でございます。

続きまして、道路橋梁費でございます。

2項道路橋梁費、1目道路橋梁総務費で、予算額2,490万1,000円に対しまして、支出済額2,401万965円、不用額89万35円です。内訳は、10節需用費の支出済額が84万6,139円です。主な内容は、光熱水費80万7,039円で、これは、市道の街路灯などの電気代でございます。

12節委託料の支出済額が687万5,000円で、不用額59万円です。内容は、道路台帳更新業務委託料でございます。不用額の生じた理由としましては、道路台帳更新業務委託料の入札差金が生じたためであります。

13節使用料及び賃借料の支出済額が22万3,806円です。これは、国道42号地下道の防犯カメラ回線使用料でございます。

続きまして、2目道路維持費で、予算額1億5,727万5,000円に対しまして、支出済額1億4,842万4,861円、繰越明許費855万8,000円、不用額29万2,139円です。内訳は、10節需用費の支出済額が1,192万6,603円です。主な内容は、修繕料1,177万7,777円で、これは、市内各所の道路修繕68件分でございます。

11節役務費の支出済額が995万6,458円です。内容は、道路除草作業手数料995万6,458円で、道路除草及び清掃作業90件分でございます。

12節委託料の支出済額が2,841万7,400円で、繰越明許費が755万8,000円でございます。内容は、橋梁長寿命化修繕事業に伴う橋梁点検業務委託料94橋分の1,199万円及び橋梁2橋、トンネル1か所の設計業務委託料1,642万7,400円でございます。繰越明許費は、防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策により事業箇所を増加し、対応しておりましたが、令和4年度中に事業の完成が見込めないものについて令和5年度に繰り越し、事業の進捗を図るものでございます。

14節工事請負費の支出済額が9,812万4,400円で、繰越明許費100万円、内容は、市内各所の舗装工事及び梶賀第一トンネルの修繕工事でございます。繰越明許費につきましては、12節の委託料と同様、事業量を増加して対応したも

のについて、令和4年度中に事業の完成が見込めないものについて繰り越し、事業の進捗を図るものでございます。

次の192、193ページを御覧ください。

3目道路新設改良費で、予算額6,000万円に対しまして、支出済額5,830万円、不用額170万円でございます。内訳は、10節需用費の支出済額が1,993万5,300円です。内容は、三木里地内道路修繕ほか125件の道路及び側溝等の修繕料でございます。

14節工事請負費の支出済額が3,836万4,700円で、不用額169万2,300円です。内容は、日尻野下中川線道路改良工事、何枚田1号線道路改良工事ほか市内各所の道路改良工事でございます。不用額の生じた理由としましては、入札の差金が生じたためでございます。

続きまして、河川費でございます。

3項河川費、1目河川総務費で、予算額3,867万円に対しまして、支出済額3,813万8,950円、不用額53万1,050円です。内訳は、10節需用費の支出済額が454万1,900円です。内容は、光ヶ丘地内河川修繕ほか18件分の河川及び護岸等の修繕料でございます。

11節役務費の支出済額が299万6,950円です。内容は、北川除草作業ほか15件分の河川除草作業等手数料でございます。

14節工事請負費の支出済額が3,057万100円で、不用額43万9,900円です。内容は、北浦谷川改修工事及び普通河川浜の川河川維持補修工事でございます。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が3万円です。内容は、全国海岸協会会費でございます。

続きまして、2目砂防費で、予算額3,344万円に対しまして、支出済額2,709万2,000円、繰越明許費634万8,000円です。内訳は、18節負担金、補助及び交付金で、県が実施しております急傾斜地崩壊対策事業地元負担金分でございます。内容は、宮ノ上地区、坂場4地区の急傾斜地崩壊対策事業費地元負担金でございます。繰越明許費につきましては、県事業の繰越しに伴う地元負担金分でございます。

続きまして、港湾費でございます。

4項港湾費、1目港湾管理費で、予算額1,119万4,000円に対しまして、支出済額1,055万1,334円、不用額64万2,666円です。内訳は、10

節需用費の支出済額が172万1,194円です。主な内容は、光熱水費143万5,690円で、これは、建設課で管理しております港湾トイレ6か所分の電気代及び水道代でございます。

11節役務費の支出済額が569万7,200円です。主な内容は、港湾トイレ6か所分の浄化槽保守点検等手数料295万7,900円及び三木里海岸清掃手数料257万2,900円です。

12節委託料の支出済額が251万6,360円です。

次ページを御覧ください。

主な内容は、尾鷲港港湾施設清掃業務委託料129万4,700円で、その他、港湾トイレの清掃業務及び船舶給水作業の委託料でございます。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が61万6,580円です。主な内容は、尾鷲港湾海岸施設維持補修費負担金51万4,580円です。

続きまして、都市計画費でございます。

5項都市計画費、1目都市計画総務費で、予算額1,666万5,000円に対しまして、支出済額1,587万902円、不用額79万4,098円です。内訳は、1節報酬の支出済額がゼロ円でございます。これは、都市計画審議会に係る委員報酬15名分を予算計上しておりましたが、令和4年度開催はございませんでしたので不執行となったものでございます。

8節旅費の支出済額がゼロ円でございます。これについても、都市計画審議会委員の旅費として予算計上しておりましたが、令和4年度、開催ございませんでしたので不執行となったものでございます。

10節需用費の支出済額が35万2,430円です。内容は消耗品費で、坂場銀杏町線の花壇の肥料及び苗木の購入費でございます。

11節役務費の支出済額がゼロ円で、これも都市計画審議会用の通信運搬費で不執行となったものでございます。

12節委託料の支出済額が121万円で、不用額44万円です。内容は、尾鷲市都市計画図更新及び庁内GISデータ構築業務委託料でございます。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が2万8,000円です。内容は、都市計画協会負担金でございます。

続きまして、2目街路事業費で、予算額5,406万8,000円に対しまして、支出済額5,386万9,947円、不用額19万8,053円です。

196、197ページを御覧ください。

内訳は、10節需用費の支出済額が391万4,882円です。主な内容は、修繕料390万3,900円で、これは、都市計画道路の舗装や側溝、街路灯などの修繕23件分でございます。

11節役務費の支出済額が79万9,700円です。内容は、都市計画道路の修繕等手数料3件分でございます。

14節工事請負費の支出済額が1,398万3,200円です。内容は、尾鷲港新田線舗装改良工事でございます。

18節負担金、補助及び交付金の支出済額が3,183万3,333円です。内容は、県が実施する尾鷲港新田線街路事業の地元負担金でございます。

続きまして、3目公園費でございます。予算額1,363万2,000円に対しまして、支出済額1,285万4,262円、不用額77万7,738円です。内訳は、10節需用費の支出済額が136万2,618円です。主な内容は、修繕料93万6,540円で、公園の遊具などの修繕13件分でございます。

11節役務費の支出済額が141万5,974円です。主な内容は、公園トイレの浄化槽保守点検等手数料46万5,350円と、公園の樹木剪定・除草手数料45万2,324円です。

12節委託料の支出済額が1,007万5,670円です。主な内容は、立木伐採業務委託料640万2,000円で、これは、中村山公園をはじめとした市内の都市公園において、危険木や景観上支障のある樹木の伐採を行い、また、小学生を対象とした森林教育を実施したものでございます。

15節原材料費の支出済額、ゼロ円でございます。

続きまして、住宅費でございます。

6項住宅費、1目住宅管理費で、予算額2,904万7,000円に対しまして、支出済額2,786万5,919円、不用額118万1,081円です。

198、199ページを御覧ください。

内訳は、8節旅費の支出済額が6万3,740円です。内容は普通旅費でございます。

10節需用費の支出済額が325万4,248円です。主な内容は、修繕料309万9,833円で、これは、市営住宅の修繕38件分でございます。

11節役務費の支出済額が57万8,842円です。主な内容は、市営住宅除草作業手数料42万750円です。

12節委託料の支出済額が129万5,800円です。内容は、住宅・建築物耐

震診断業務委託料 24 件分でございます。

13 節使用料及び賃借料の支出済額が 5 万 5,000 円です。内容は、建築関連ソフトウェア使用料でございます。

18 節負担金、補助及び交付金の支出済額が 325 万 5,300 円です。主な内容は、木造住宅耐震補強等補助金 317 万 4,000 円でございます。

通知をいたします。決算書の 236、237 ページを御覧ください。

10 款災害復旧費、2 項公共土木施設災害復旧費、1 目現年発生公共土木施設災害復旧費で、予算額 100 万円に対しまして、支出済額 97 万 9,000 円、不用額 2 万 1,000 円でございます。内訳は、14 節工事請負費の支出済額が 97 万 9,000 円で、内容は、瀬木山町地内水路護岸災害復旧工事でございます。

議案第 46 号、令和 4 年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についての建設課に係る説明は以上でございます。よろしく御審議賜り、御承認いただきますようお願い申し上げます。

○南委員長 実績報告書はええんかな。主立ったところは特に。

○塩津建設課長 実績報告書のうち、主なものとして、地籍調査事業と道路維持について説明させていただきたいと思います。

通知いたします。主要施策の成果及び実績報告書の 85 ページを御覧ください。

事業名は、地籍調査事業でございます。

事業の目的は、公図混乱地域等において事業を実施し、境界のトラブル防止、土地取引の円滑化などを図るものでございます。

事業の内容は、主なものといたしまして、地籍調査業務委託料 389 万 4,000 円でございます。

事業の成果につきましては、天満①地区のうち、古里・天満ノ上において、地積測定、地籍図、地籍簿等の作成、閲覧を行ったものでございます。天満地区につきましては、三重県からの要請もあり、県道海山尾鷲港線の道路整備事業に関連して事業を実施しているところでございます。

財源内訳は、県支出金の地籍調査補助金 277 万 8,000 円、一般財源 121 万 4,000 円でございます。

○南委員長 以上が建設課の決算報告でございます。審査は、正午をまたぐと思いますけれども、このまま続けていきたいので、よろしく願いいたします。

御質疑のある方、御発言願います。

○中村委員 実績報告の 85 ページの地籍調査、これ、天満はもう今年で終わら

れるんですか。

○塩津建設課長 天満地区については今年度で完了する予定でございます。

○中村委員 来年度はどこへ入られますか。

○塩津建設課長 港町地区、D I D地域のほうへ入ってきたいと、今年も含めて入っております。

○中村委員 範囲を教えてください。

○塩津建設課長 範囲といいますか、今、港町・南浦地区としまして0.08キロ平方メートルを予定しております。

○中村委員 あそこって、人は何人住んでいる地域ですか。

○塩津建設課長 すみません。人数については、ちょっとこちらのほうでは把握しておりません。

○中村委員 地籍調査、すごい、この前もきつと出てきたと思うんですけども、地籍調査が何で必要かというところで、民家の密集地の確定していないところを先にする必要があると思うんですよ。ぜひ、毎年同じことを言っているんですけども、地籍調査、力入れてもらわな、災害が起こったときに後の復興が本当に遅れるので、もうぜひ本腰を入れてやっていただきたいと思います。人の住んでいないところより、人の住んでいるところをメインにやっていただきたいと思います。

○塩津建設課長 委員おっしゃるとおり、災害からの復旧にとっては地籍調査事業というのはかなり有効なものでもございますので、来年度以降もD I D地区、人口密集地域を中心に計画のほうは進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○南委員長 他にございませんか。よろしいですか。

○小川委員 決算書の199ページなんですけれども、住宅・建築物耐震診断業務委託料129万5,800円、これが24件と聞いたんですけど、耐震診断を受けるのは無料ですよ。

○塩津建設課長 耐震診断につきましては無料でございます。

○小川委員 これを受けて耐震が必要となった場合が、18節負担金、補助及び交付金のほうだと思うんですけど、木造住宅耐震補強等補助金317万4,000円、耐震するときに限度額というのはあるんですか。

○上村建設課主幹兼係長 木造の耐震工事なんですけれども、補助金に関しましては、国、県、市合わせて最大100万円の工事となっております。

○小川委員 もし解体となった場合は幾らやった。20万円ぐらいやったですか。

○上村建設課主幹兼係長 解体の場合は最大で20万7,000円の補助です。

○南委員長 他にございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○南委員長 それでは、ないようですので、建設課の決算審査を終了いたします。  
ありがとうございました。

ここで正午のため休憩いたします。午後は1時20分からということでお願いいたします。

(休憩 午前11時59分)

(再開 午後 1時17分)

○南委員長 それでは、少し早いようですけれども、会議を続行させていただきます。

傍聴の申入れが2名ほどありますので、許可してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○南委員長 では、傍聴を許可することにいたします。

今回傍聴される方はフレンテみえということで、地域の女性の人材育成講座を尾鷲市のほうでも3講座ぐらい予定しておるということで、既に8月26日が終わったんですけれども、10月29日と12月23日に中央公民館と社協のほうで講座を行っていただくそうです。もう少し調べてみると、フレンテとはスペイン語で前向きを表す意味でございますので、我々委員会も前向きに審査をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いをいたします。

それでは、午後から教育委員会に入ってくださいました。

まず、教育長のほうから。

○田中教育長 教育委員会でございます。よろしくお願いいたします。

議案第46号、令和4年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定についてのうち、教育委員会に係る分につきまして担当課長より説明いたさせますので、よろしく御審議賜りますようお願いいたします。

○南委員長 それでは、お願いいたします。

○柳田教育総務課長 教育総務課です。よろしくお願いいたします。

それでは、教育総務課に係る決算につきまして説明させていただきます。

なお、説明時間は約20分ほどを予定しております。よろしくお願いいたします。

決算書の202ページ、203ページを御覧ください。通知いたします。



9 款教育費、1 項教育総務費、1 目教育委員会費です。予算現額 2 4 5 万円に対しまして、支出済額は 2 3 8 万 6 5 8 円で、不用額は 6 万 9, 3 4 2 円です。主な支出は、1 節報酬 2 3 5 万 4 1 8 円で、教育委員の委員報酬となっております。

次に、2 目事務局費です。予算現額 5 億 3, 5 8 8 万 3, 0 0 0 円に対し、支出済額は 5 億 8 4 2 万 4, 5 7 3 円で、不用額は 2, 7 4 5 万 8, 4 2 7 円です。1 節報酬は、支出済額 1, 0 8 6 万 5, 6 5 8 円で、健康管理医や学校運営協議会委員などへの委員等報酬と会計年度任用職員 2 名分及び A L T 2 名分の報酬 1, 3 3 7 万 2, 8 5 8 円です。

次に、2 節給料の人件費に関しましては、総務課より説明がありましたので割愛させていただきます。

次ページを御覧ください。

7 節報償費は、支出済額 5 8 万 9, 0 0 0 円で、学校安全総合支援事業アドバイザー謝金 3 1 万円が主なものです。

1 0 節需用費、支出済額 1, 7 8 3 万 2, 3 4 2 円で、主な支出は、消耗品費 1, 6 8 7 万 4, 8 1 7 円で、尾鷲小学校及び尾鷲中学校で利用する食器、食缶等のほか、衛生管理等消耗品 9 6 7 万 6, 3 6 7 円が主なものです。不用額 1 0 8 万 2, 6 5 8 円は、同センター消耗品購入が当初見積りを下回ったためでございます。

1 1 節役務費は、支出済額 1 1 5 万 5, 4 2 9 円で、庁舎別館及び矢浜教職員住宅の浄化槽保守点検等手数料などがございます。

1 2 節委託料、支出済額 1, 9 9 9 万 8, 0 0 0 円で、スクールバス運行委託料 1, 4 1 5 万 7, 0 0 0 円、尾鷲市学校給食センター設計等業務委託料 3 7 1 万 8, 0 0 0 円などです。

1 3 節使用料及び賃借料は、支出済額 1, 6 3 9 万 2, 2 8 2 円で、学校 I C T 環境機器借上料でパソコン教室などの学習端末や大型ディスプレイなどの借上料などがございます。なお、不用額 5 8 万 2, 7 1 8 円の主なものは車両リースの入札差金等がございます。

1 4 節工事請負費は、支出済額 2 億 7, 9 2 0 万 5, 3 0 0 円で、尾鷲市学校給食センター建設工事費等 2 億 4, 3 9 2 万 8, 3 0 0 円と、尾鷲中学校エレベーター等設置工事費 3, 5 2 7 万 7, 0 0 0 円です。不用額 2, 2 3 8 万 9, 7 0 0 円は入札差金でございます。

1 7 節備品購入費は、支出済額 8, 3 4 6 万 3, 6 6 6 円で、厨房機器等購入費です。不用額 1 3 5 万 7, 3 3 4 円は、購入価格が当初の見積りよりも下回ったこと

が原因となっております。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額398万2,715円で、日本スポーツ振興センター共済掛金85万5,270円、同センター共済給付金115万985円などがございます。不用額57万5,285円の主なものは、日本スポーツ振興センター共済掛金が当初の見積りを下回ったことが原因です。

21節補償、補填及び賠償金は、支出済額7万554円で、これは、ICT活用の授業で著作権を含むものを活用する際に必要な授業目的公衆送信補償金を支払うものでございます。

それでは、九鬼・輪内地区スクールバス運行管理事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告書を用いまして、係長から説明いたさせます。

○柳瀬教育総務課係長 通知いたします。九鬼・輪内地区スクールバス運行管理事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、九鬼・輪内地区における小中学生の通学手段の確保と、地域間交流活動等を行う際の移動手段の確保を目的としております。

事業の内容につきましては、主にスクールバス3台の運行管理業務となっており、経費内訳は、自賠責保険料、自動車重量税等を含む業務委託料1,415万7,000円となっております。

事業成果としましては、九鬼・輪内地区の小中学生の安全な通学手段の確保及び遠距離通学の負担が軽減され、また、地域内での伝統行事、校外学習等における移動手段としての利用により、地域住民との交流や社会生活、郷土愛等を育む教育環境の充実を図ることができたと考えています。

財源内訳は、ふるさと応援基金繰入金1,200万円、一般財源215万7,000円となっております。

説明は以上です。

○柳田教育総務課長 それでは、引き続きまして、3目奨学資金貸付金でございます。通知いたします。予算現額410万9,000円に対し、支出済額は410万5,457円です。支出の主なものは、20節貸付金、奨学資金貸付金で、408万円でございます。本事業に関しましても、詳細は係長から報告いたします。

○柳瀬教育総務課係長 通知いたします。奨学金貸付事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、高校、大学等へ進学する生徒、学生で学資の十分でない者に対し、奨学金を貸与し、卒業後社会に貢献させることを目的としております。

事業の内容につきましては、勉強意欲があるにもかかわらず、経済的理由により高校、大学等への進学が困難な方で、尾鷲市奨学金……。

○南委員長 係長。そんなに慌てんと、もうちょっとゆっくり押さえてお願いします。

○柳瀬教育総務課係長 尾鷲市奨学金貸与選考委員会での選考を経て、承認された方に奨学金を貸与しております。

経費内訳は記載のとおりでございます。

事業成果としましては、高校、大学等へ進学する生徒、学生に対して奨学金を貸与することにより、保護者の経済的負担を軽減し、適切な就学環境の整備を図ることで、次代の社会を担う人材育成のための機会を保障することができたと考えております。新型コロナウイルス感染症による経済的な影響を鑑みて実施しました追加採用者3名と合わせまして、計4名の採用者がございました。

財源内訳は、奨学資金貸付金返還金341万5,000円、一般財源69万円となっております。

説明は以上です。

○柳田教育総務課長 それでは、続きまして、2項小学校費、1目学校管理費を説明させていただきます。決算書208ページを通知いたします。予算現額1億5,702万2,000円に対し、支出済額は1億4,338万7,786円で、不用額773万8,214円です。

1節報酬は、支出済額5,719万1,885円で、学校医、薬剤師と給食調理員等の会計年度任用職員50名分の報酬でございます。不用額178万4,115円につきましては、会計年度任用職員の採用期間が見込みを下回ったためでございます。

10節需用費は、支出済額4,435万9,578円で、授業用事務用品などの消耗品費1,330万459円、光熱水費2,416万940円、修繕料は348万8,134円で、施設設備等の修繕料でございます。不用額362万4,422円は、光熱水費等が見込みを下回ったことによるものです。

11節役務費は、支出済額1,050万3,713円で、浄化槽保守点検等手数料や火災報知機点検手数料、給食用昇降機点検手数料などがございます。

次ページを御覧ください。

12節委託料は、支出済額270万216円で、児童心臓検診委託料ほか、電気保安業務委託料124万5,200円などです。

13節使用料及び賃借料は、支出済額185万376円で、複合機使用料やインターネット使用料などがございます。

14節工事請負費は、支出済額366万7,400円で、尾鷲小学校防護柵設置撤去工事費249万400円及び繰越明許費であります向井小学校屋内運動場消火栓ポンプ改修工事費117万7,000円です。

17節備品購入費は、支出済額184万2,379円で、図書購入やデジタル印刷機等の購入でございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額7万4,953円で、三重県学校保健会紀北支部負担金などです。

次ページを御覧ください。

2目教育振興費です。予算現額874万8,000円に対し、支出済額は779万4,637円、不用額は95万3,363円です。

7節報償費から13節使用料及び賃借料までは、ふるさと教育支援事業及び子どもの学びと育ち育成支援事業に係る費用でございますので、後ほど主要施策を基に説明をさせていただきます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額62万7,840円で、準要保護世帯等への就業援助費用補助金でございます。

19節扶助費は、支出済額645万1,197円で、学用品費等、給食費、特別支援教育就学奨励費でございます。認定児童の内訳は、要保護1名、準要保護118名、特別支援13名となっております。不用額80万7,803円は、学用品費等と扶助費が見込みを下回ったことが主な理由です。

ふるさと教育支援事業及び子どもの学びと育ち育成支援事業につきましては係長より報告いたさせます。

○柳瀬教育総務課係長 94ページを通知いたします。ふるさと教育支援事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、子供たちがふるさと尾鷲に愛着を持ち続けるため、地域の人々の考え方や生き方から学んだり、自然や景観、歴史、伝統文化の体験など、郷土愛を育むふるさと教育を充実させることを目的としております。

事業の内容につきましては、尾鷲の自然や景観、歴史、伝統文化などに触れる体験学習、地域教材を活用した学びの充実など、記載のとおりでございます。

経費内訳は、小学校分が消耗品費と借上料で41万2,000円、中学校分が消耗品費、通信運搬費、会場借上料で11万5,000円となっております。

事業成果としましては、コロナ禍でできないこともありましたが、小学校では鈴鹿サーキットでの体験プログラムに参加し、本田技研工業株式会社での自動車生産などについて学ぶことができました。自然体験学習や伝統文化体験学習などを通して、地域の自然、歴史、食文化について理解を深め、地域の先人の知恵等を学んで、地域を大切にする気持ちを育み、地域の方々との交流を深める機会を持つことができました。中学校のふるさと産業体験活動につきましては、職場体験を通して地域の産業を学ぶとともに、働くことの意味や意義に触れることができました。

財源内訳は全てふるさと応援基金繰入金でございます。

続きまして、次の94ページを御覧ください。

次に、子どもの学びと育ち育成支援事業について御説明いたします。

まず、事業の目的は、より望ましい人間関係づくりや豊かな未来を切り開くための環境づくりと学校教育の充実を進めること及び文化的、芸術的な催物の鑑賞を通して、園児の豊かな感性や想像力を育むことを目的としております。

事業の内容につきましては、学級満足度調査、Q U調査を活用した児童・生徒が安心して学ぶことができる環境づくりの推進など、記載のとおりでございます。

経費内訳は、小学校が報償費、消耗品費、役務費など30万4,000円、中学校が消耗品費で34万8,000円、幼稚園が消耗品費、委託料などで12万4,000円となっております。

事業成果としましては、各学校においてQ U調査を活用した学級のデータ分析を行い、課題解決に向けての取組を進めるなど、P D C Aサイクルを意識した学級経営に役立てることができ、また、一人一人の子供の思いを把握し、個別に悩みを聞くなどの対応や、いじめ等の諸問題に対しての未然防止の取組などにつなげることができたと考えています。幼稚園では、プロによる人形劇を観劇し、子供たちの心に強く残るものとなり、本物の文化、芸術に触れる貴重な機会を持つことができました。

財源内訳は全て一般財源となっております。

説明は以上です。

○柳田教育総務課長      それでは、続きまして、第3項中学校費、1目学校管理費を説明させていただきます。通知します。予算現額1億1,769万6,000円に対し、支出済額は1億107万1,630円で、不用額は884万7,366円でした。

1節報酬は、支出済額1,421万3,943円、学校医と薬剤師及び用務員等の

会計年度任用職員12名分の報酬です。不用額74万5,057円は、会計年度任用職員の採用が見込みを下回ったものでございます。

10節需用費は、支出済額2,203万8,201円で、授業用事務用品などの消耗品費617万8,037円、光熱水費1,257万9,970円、修繕料は249万4,151円で、尾鷲中学校のトイレの照明灯の修繕でございました。不用額86万9,799円は、光熱水費等が見込みを下回ったことによるものなどです。

11節役務費は、支出済額278万2,435円で、通信運搬費33万9,799円、浄化槽保守点検等手数料174万5,900円などです。

次ページを御覧ください。

12節委託料は、支出済額278万4,816円で、生徒心臓検診委託料ほか、教職員健康診断など各種委託料でございます。

13節使用料及び賃借料は、支出済額75万287円で、複合機使用料45万8,479円などです。

14節工事請負費、支出済額4,708万円は、尾鷲中学校屋内消火設備改修工事及び同校の体育館アリーナ床改修工事です。不用額412万8,000円は入札差金でございます。

次ページを御覧ください。

17節備品購入費は、支出済額576万1,023円で、図書購入や生徒用の椅子や机の購入費用でございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額62万2,818円で、郡市中学校体育連盟負担金18万440円、選手派遣費補助金33万9,807円などです。不用額は104万9,182円で、新型コロナウイルスの影響により、中学校部活動選手派遣費補助金が見込みを下回ったことによるものです。

次に、2目教育振興費です。予算現額816万3,000円に対し、支出済額は696万582円で、不用額は120万2,418円です。

10節需用費は、支出済額102万6円で、クラブ活動に係るテニスボール等の消耗品ほか、UQアンケート用紙の購入費などでございます。

19節扶助費の支出済額583万4,804円は、学用品費等、給食費、特別支援教育就学奨励費で、認定の生徒の内訳は、要保護が1名、準要保護が82名、特別支援が3名です。不用額107万5,196円は、同扶助費の学用品等の見込みが当初を下回ったためでございます。

次に、4項幼稚園費、1目幼稚園費です。予算現額1,963万6,000円に対

し、支出済額は1,905万334円で、不用額は58万5,666円です。

1節報酬は、支出済額221万6,743円で、園医及び薬剤師と会計年度任用職員1名分の報酬となっております。

10節需用費は、支出済額21万3,978円で、コピー用紙等、事務用品費など消耗品費17万3,278円などがございます。

次ページを御覧ください。

12節委託料は、支出済額13万2,572円で、人形劇委託料11万8,800円などがございます。

18節負担金、補助及び交付金は、支出済額13万7,580円で、紀北ブロック乳幼児教育推進協議会負担金5万円などです。

以上が教育委員会の教育総務課に係る決算の説明でございます。

なお、資料といたしまして、教育委員会の会計年度任用職員の人件費についての資料を添付してございますので、また後ほど御覧いただければと思います。

以上です。

○南委員長 そのまま社会教育のほうも説明受けてもよろしいですか。では、引き続き、社会教育のほうもお願いをいたします。

○平山生涯学習課長 生涯学習課でございます。よろしくお願いたします。

生涯学習課に関する決算につきまして、決算書を基に、主要施策の成果及び実績報告で御説明いたします。

決算書の218、219ページを御覧ください。

9款教育費、5項社会教育費につきましては、予算現額1億8,980万4,000円に対し、支出済額は1億8,471万3,946円で、不用額は509万54円でございます。

1目の社会教育総務費でございますが、人件費につきましては総務課より説明がされておりますので、割愛させていただきます。

こちらのほう、社会教育費の予算現額といたしましては4,442万6,000円、支出済額4,396万1,091円、不用額は46万4,909円となっております。支出の主なものとして、次ページの220、221ページのほうを御覧いただき、こちら、7節報償費140万1,100円で、このうち120万3,100円は放課後子ども教室推進事業のいきいき尾鷲っ子のコーディネーターや講師等に係る報償費で、記念品代につきましては、第1回二十歳のつどい記念品でございます。

13節使用料及び賃借料39万2,714円のうち、文化会館使用料24万1,850円は、二十歳のつどい開催に係る使用料でございます。

次に、2目公民館費でございます。予算現額4,543万8,000円に対しまして、支出済額が4,418万3,154円で、不用額は125万4,846円でございます。支出の主なものとしたしましては、次ページ、222、223ページのこちら、10節需用費1,122万5,577円のうち、中央公民館等の光熱水費が748万10円、修繕料337万2,335円は、中央公民館2階図書館系統の空調機修繕や、3階和室の畳や照明器具等の修繕、その他浄化槽の配管修繕などの修繕料でございます。不用額69万6,423円は、電気料金高騰等に伴う中央公民館の光熱水費等の補正予算計上を行いました。実績のほうが見込みより少なかったことによるものでございます。

次に、12節委託料1,263万7,020円は、次ページのほうに移っていただき、こちらのほうで清掃や警備、設備の各種点検等に伴う委託料及び中央公民館の耐震化事業に係る設計等業務委託料687万5,000円でございます。

中央公民館の耐震化事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。通知いたします。

○丸田生涯学習課長補佐兼係長      それでは、中央公民館耐震化事業について御説明いたします。

本事業は、昭和55年に設立された中央公民館の耐震化を図り、市民の生涯学習活動の拠点として、学習機会の提供及び教養と健康づくりの推進を目的とするものでございます。

事業内容としましては、耐震診断、結果等を分析、見直しし、適切な方法による耐震化を検討するもので、公益財団法人三重県建設技術センターへ設計業務委託し、現在の耐震基準に基づいた工法及び補強箇所の検証により、南東側の壁面や講堂の屋根を補強するなどの設計を行いました。

事業費は687万5,000円で、財源内訳は、その他特定財源として、中央公民館整備事業債が680万、一般財源は7万5,000円でございます。

説明は以上です。

○平山生涯学習課長      では、決算書224、225ページにお戻りください。

次に、14節工事請負費264万2,200円は、中央公民館消火栓ポンプ取替工事に係る工事請負費、17節の備品購入費846万8,900円は、こちらのほうは新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、中央公民館3



階講堂に設置いたしましたマイクシステム一式の備品購入費でございます。

続きまして、3目天文科学館費でございます。予算現額574万円に対しまして、支出済額505万6,599円、不用額は68万3,401円でございます。支出の主なものといたしましては、10節需用費90万3,639円は、天文科学館のドーム空調機の取替え修繕ほか3件の修繕料46万2,550円などでございます。

次に、4目の図書館費でございます。予算現額2,780万3,000円に対しまして、支出済額2,753万1,008円で、不用額は27万1,992円でございます。

次ページの226、227ページを御覧ください。

支出の主なものといたしましては、13節の使用料及び賃借料159万5,363円のうち、図書館システム使用料が128万4,360円などであります。

17節備品購入費365万563円は、こちら、図書館分の1,508冊と、あと、コミュニティーセンター分の67冊の図書の購入費と、今回こちらにつきましても新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、図書館に設置いたしました図書除菌機の購入費が本備品購入費でございます。

それでは、図書館管理運営事業につきまして、主要施策の成果及び実績報告書で御説明いたします。

○浜口生涯学習課係長      それでは、図書館管理運営事業について御説明いたします。

本事業は、暮らしの中の図書館として、市民が知性と教養を育み、潤いのある豊かな生活を送るために役立つこと等を目的に、資料の収集、提供、保存を行うほか、おはなし会や保育園等への絵本の貸出し、地区コミュニティーセンターへの団体貸出しを行っています。

事業成果といたしましては、昨年度の貸出し冊数5万7,425冊、貸出し人数1万2,701人、インターネットからの予約は1,216件でした。乳幼児向けのおはなし会等の行事を63回開催し、延べ602人の参加をいただき、読書に親しむ機会を提供することができました。あわせて、保護者向けのチラシを配布し、家庭での読書の取組を啓発いたしました。

小中学生に対しては、手作り絵本教室、子ども読書会の開催、小中学校へ訪問し、ブックトークを行ったり、中学生の職場体験、図書館見学の受入れを行い、延べ285人の子供たちに対し読書への興味、関心を高めました。

地域へは、地区コミュニティーセンターへ定期的に巡回し、図書を配本し、コミ

ユニティーセンター職員と連携して、図書館利用が不便な方に対しての貸出しサービスを図りました。

また、昨年度本の除菌機を購入、設置したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図り、利用者に安心して本を読んでもらえる一助となりました。

事業費は642万7,000円で、財源内訳につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金105万6,000円、図書館コピーサービス料1万5,000円、ふるさと応援基金繰入金259万5,000円、一般財源276万1,000円でございます。

説明は以上でございます。

○平山生涯学習課長 決算書226、227ページにお戻りください。

次に、5目文化財保護費でございます。予算現額204万8,000円に対しまして、支出済額84万3,997円で、不用額は156万4,003円でございます。不用額の主なものといたしましては、次ページ、228、229ページにお移りいただき、21節の補償、補填及び賠償金100万円は、熊野古道周辺の森林施業者に対する熊野古道歩行者の安全確保のために要する際の経費の補填費の支給がなかったため、今回不用額となったものでございます。

次に、支出の主なものといたしましては、10節の需用費50万6,205円のうち修繕料48万7,300円は、熊野古道の馬越峠の説明看板、標識の修繕料であります。

次に、6目郷土室費でございます。予算現額719万4,000円に対しまして、支出済額714万1,900円で、不用額5万2,100円でございます。支出の主なものといたしましては、12節の委託料114万9,500円は、尾鷲大庄屋文書等の貴重な文書など、文化財を害虫から守るための薫蒸作業の委託料でございます。

次に、230、231ページを御覧ください。

7目少年センター費でございます。予算現額527万円に対しまして、支出済額461万8,457円で、不用額65万1,543円でございます。支出の主なものといたしましては、18節の負担金、補助及び交付金41万5,013円は、尾鷲市少年指導員の会への青少年非行防止活動事業補助金、青少年育成町民会議の5団体への青少年育成地域活動事業補助金、あと、地域間交流活動推進事業補助金は、尾鷲市青少年育成市民会議への補助金となっております。

続きまして、8目文化会館費でございます。予算現額5,152万5,000円に

対しまして、支出済額5,137万7,740円で、不用額は14万7,260円でございます。支出の主なものといたしましては、10節需用費、修繕料347万540円で、こちらは大ホールの空調設備の冷凍機及びヘッダー圧力バイパス弁の制御機器修繕ほか、1階事務所の自動火災報知器設備修繕等でございます。

12節の委託料4,787万2,000円は、公益財団法人尾鷲文化振興会に委託している市民文化会館の指定管理料でございます。

続きまして、9款教育費、6項保健体育費、1目保健体育総務費でございます。予算現額2億3,411万円に対しまして、支出済額1億4,039万7,073円で、繰越明許費7,642万6,000円は、こちらは令和5年第1回定例会にて繰越しをお認めいただきました国市浜公園整備に伴う測量設計実施業務関係の委託料及び積算業務に係る委託料でございます。不用額は1,728万6,927円でございます。

少し飛びまして、234、235ページのほうを御覧ください。

こちらのほうに、不用額の主なものといたしましては、2目運動場管理費の14節工事請負費1,458万7,200円は、市立運動場テニスコート改修工事の入札差金でございます。こちらは工期及び変更契約の状況により減額の補正予算計上を行いませんでしたので、今回不用額としたものでございます。

232、233ページにお戻りください。

1目保健体育総務費の支出の主なものといたしましては、12節委託料70万円は、尾鷲市スポーツ協会への美し国三重市町対抗駅伝参加事業委託料であります。

18節負担金、補助及び交付金486万138円の主なものといたしましては、補助金のうち、成年スポーツ活動事業補助金は尾鷲市スポーツ協会への補助金、少年スポーツ活動事業補助金は尾鷲市スポーツ少年団への活動補助金でございます。他市町公営プール利用補助金402万5,280円は、紀北町、多気町、熊野市にある市民プールの利用者に対する補助金で、昨年度は延べ1,427人、件数としましては1万1,855件の利用があり、令和3年度比で約30%の増加となっております。

続きまして、2目運動場管理費でございます。予算現額1億9,299万8,000円に対しまして、支出済額が1億175万8,332円、繰越明許費7,642万6,000円、不用額は1,481万3,668円でございます。

次ページ、234、235ページを御覧ください。

支出の主なものといたしましては、12節委託料4,642万2,300円は、野

球場と市営グラウンドの施設管理や除草、トイレなどの運動場施設管理業務委託料が184万8,000円、設計等業務委託料4,457万4,300円は、国市浜公園に伴う地質業務の委託料、こちらが1,959万4,300円。あと、繰越しをお認めいただいた国市浜公園整備に伴う測量・基本設計・実施設計の業務委託料、こちらは事業費が8,329万2,000円のうち、前払い金として2,049万8,000円を支出しております。

14節の工事請負費5,319万500円は、市立運動場テニスコート改修工事に係る工事請負費で、テニスコート4面、面積で2,965平米を砂入り人工芝舗装に改修を行いました。こちらの財源といたしましては、日本スポーツ振興センターよりスポーツ振興くじ助成金3,390万4,000円の助成を受けております。

次に、3目の体育文化会館管理費でございます。予算現額1,553万7,000円に対しまして、支出済額が1,459万1,298円で、不用額は94万5,702円でございます。不用額の主なものといたしましては、12節委託料74万8,540円は、体育館で休日に開催される予定であった大会等が中止になったことにより、休日の臨時警備業務委託料が見込みを下回ったことなどによるものでございます。

次に、支出の主なものといたしましては、10節需用費412万2,916円は、体育文化会館及び市庁舎別館の光熱水費339万4,849円及び体育文化会館、九鬼体育館武道場の各種修繕料として65万3,400円でございます。

次に、12節委託料981万8,460円は、体育文化会館耐震診断業務委託料694万9,800円ほか、警備、清掃業務委託料が主なものであります。

それでは、体育文化会館の耐震診断事業につきましては、主要施策の成果及び実績報告で御説明いたします。

○中世古生涯学習課主幹兼係長　それでは、体育文化会館耐震診断事業について御説明いたします。

主要施策の108ページを御覧ください。

体育文化会館耐震診断事業については、これまで耐震診断等の調査検討が未実施であったが、尾鷲市公共施設等総合管理計画に上げた目標達成に向け、令和2年度に策定された尾鷲市公共施設個別計画に基づき、耐震診断を昨年度実施いたしました。

結果概要については、大規模な地震で倒壊し、または崩落する危険性が高いと判定され、この結果を踏まえ、今年2月8日より体育館の利用を中止しております。

決算額は695万円、財源内訳については、国庫支出金、防災・安全交付金から201万6,000円、一般財源493万4,000円となっております。

説明は以上でございます。

○平山生涯学習課長 以上で生涯学習課に関する決算の説明とさせていただきます。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○南委員長 以上ですね、決算説明はね。

教育委員会に係る一般会計の決算は以上でございます。御質疑、御発言のある方。

○中村委員 決算書の205ページの事務局費の10節需用費、消耗品費1,600万の、大まかでいいですけど、内訳って教えていただけますか。事務局だけの消耗品費ですよ。

○柳田教育総務課長 大きなものとしたしましては、給食センターから配送される尾鷲小学校、中学校への食器類で、概算でございますが508万円、それを運ぶ食缶等の購入で460万円が経費としてかかっております。

○中村委員 それって事務局費の消耗品なんですか。給食の食器ですよ。

○柳田教育総務課長 教育委員会の費用品目に関しましては、小学校費、中学校費、事務局費という形で分かれておまして、今回の給食センターは共同調理場という形になりますので、両方の学校に係るということで、事務局費にこちらの消耗品を計上させていただいたという運びになっております。

○南委員長 よろしいですか。

○小川委員 毎年一緒のところばかり聞いているような気もするんですけど、213ページ、18節の就学援助費用補助金というの、これは初めて聞いたかなと思うんですが、これは何なんですか。

○柳瀬教育総務課係長 こちらにつきましては、昨年度、給食センター工事にかかりまして、給食が停止しました尾鷲小学校の高学年の分に扶助費相当の補助をとということで、補助金として計上したものでございます。

以上です。

○小川委員 それから、相対的貧困と言われる生徒たちの、2012年度あたりからちょっと改善してきて、今、全国的に7人に1人ぐらいになっていると思うんですけど、今聞いた人数、要保護1人、準要保護118人、あと、113人とか聞いたんですけども、尾鷲市としては、尾鷲市も改善されているんですか。今は何人に1人ぐらいになっているんですか。

○柳瀬教育総務課係長 すみません。何人に1人というところまでは計算はして

いないんですけれども、生徒・児童の数は減っておるんですけれども、扶助費に該当する方というのは横ばいというか、そこまで減っていないというのが現状でございます。

以上です。

○小川委員 去年、おとしあたり、多分5人に1人ぐらいちょっと率、高かったかなと思うんですけど、その横ばいということで、尾鷲市のほうでは改善はされていないというふうに理解すればいいですよ。

○柳田教育総務課長 委員の御質問にお答えさせていただきます。

少子高齢化に伴いまして生徒数は徐々に減少をしておるような状況でございますが、要保護世帯というのはいわゆる独り親世帯であったり、所得が著しく低いという方に対しての援助となっております、これに関しましてはあまり人の減は少ないという、子供が減っているスピードよりは減っていないというような状況ではあるものの、これ以降先、まだまだ子供の数が減ってくるということで、全体的には減少にはなってくるかなと考えております。

○小川委員 扶助費のところを見ると、学用品、あと、給食費などあるんですけど、尾鷲市の場合、修学旅行費はついていなかったですか。

○柳田教育総務課長 こちらのほう、修学旅行についてもついておりますが、すみません、品目のほうがこちらのほうの扶助費のほうにつかず、ごめんなさい、ちょっと確認はしてみなきゃいけないんですが、費用弁償のほうに恐らく入っているかと思しますので、また確認させていただきます。

○小川委員 学用品、給食費、みんな一緒の人数ですよ、皆さん。これはあるけど、これはないというのはないですよ。

○柳田教育総務課長 尾鷲市だけこれがないということはありません。

○小川委員 分かりました。

○中村委員 216、217ページの幼稚園費についてお尋ねします。

3歳児からの無償化が始まっていると思うんですけれども、これの中の予算の国と県からの割合を教えてくださいませんか。1,900万の中の。

○南委員長 分かります、この財源構成、すぐに。

○柳田教育総務課長 大変申し訳ございません。今手元に詳細資料がございませんので、また確認させていただいて、資料のほう、提出をさせていただきます。

○南委員長 後でお願いいたします。

他にございませんか。

○仲委員 決算書211ページの小学校費、委託料で、小学校のプール水質検査委託料とか、プールのトリハロメタン検査委託料、中学校費も同じように予算、決算があるわけなんですけど、今年の夏休み中の小学校のプールのにぎわいが耳に入ってきていません。小学校の夏休みのプールの開放についてどうであったか。もう一つは、尾鷲中学校のプールの使用は平時どうなのか。そこらをちょっとお答えください。

○柳田教育総務課長 いただいた委員御質問のプールにつきまして回答させていただきます。

小学校のプールでございますが、コロナ禍ということで、ここ数年コロナ禍に入ってから学校のほうのいわゆる自由開放というものがされていないと聞いております。一部今年に入ってからPTAの皆様と協議をして一部開放したところであるとか、学校のいわゆる授業として、ちょっと泳ぐのがまだ上手ではない子に対しての補習というような形で学校のプールを利用したということは聞いておりますが、一般的に夏休み、自由開放をしたというのは1校だけと聞いております。これに関しましては、コロナの間もあたりということと、あとは、開放に関しましては学校ではなくPTAが主体となって学校のプールを開放しているであるとか、そういったところで、人の問題、やはり事故の安全性を確保する問題等々もありますので、今後開放に向けて、開放していくということであれば様々な諸所の課題を解決していかななくてはならないかなというふうに考えております。

なお、中学校の開放のことに関しましては、大変申し訳ございません、今のところちょっと情報が入っておりません。

○仲委員 ここ二、三年はコロナの関係で、自由開放か、夏休み中の、されていないと。1校だけということなんですけど、夏休みの子供たちの居場所というのは、一つはプールで泳ぐと。今年みたいな熱中症が出るような暑さ、プールにおっても熱中症になる場合もあるとは聞いてはいますけど、やはり水につかるというのは、ある意味では子供たちは涼しいかなと。

今後、コロナが今のような状態が続いたとき、各小学校、何年間もやはり自由開放ができないという状況を僕はつくってはいけなないと。働き方改革で、先生じゃなしにPTAが自由開放、プールのあれを持つというのであれば、それも難しいということであれば、今後夏休み期間中の各小学校、5日でも6日でもいいんですよ。予算をつければ警備員を置けます。そういうような考え方があっていいんじゃないかと思うんですけど、保健体育費には他市町公営プールに402万5,000円出

ています。出ていますよね。学校教育で予算をつけないということはないと思うんですわ。そういうところへ、教育長、どうですか。

○田中教育長　　コロナ禍ということで、以前やっていた自由開放ができないということが今、懸案になっているというふうに思いますけれども、安全性が非常に、こども園のほうでも事故がありましたよね、滋賀のほうで。そういうことで、安全性を確保しないといけないというところで、委員さん今言ってくれているような予算措置も要るかなというふうに思いますので、また今後検討していきたいというふうに思います。それから、本当に子供たちの夏休みが、プールを奪われるというのは非常に苦しいことやなというのは分かっておりますので、その辺のことも十分学校側とも相談しながらしていきたいなというふうには考えております。

○仲委員　　小学校等のプールの自由開放については、よその大きな都市でも現実に今年ありました。しかしながら、民間のプールが開業してしまして、子供たちはそこへ行けると、尾鷲市ではないんですね。川へ行ったらいいんじゃないかというけど、そこも危険があります。それから、もう一点は、放課後児童クラブも影響を受けているんですね。学校が夏休み中、プールを開放しないということであれば、放課後児童クラブも使えない。こういうことも含めて、予算処置が必要であれば予算要求してください。

以上です。

○南委員長　　答弁はよろしいですか。

○柳田教育総務課長　　ありがとうございます。

プールの開放に関しましては、先ほど話しさせていただきましたとおり、いわゆる危険性を伴うものであっては駄目だと思っておりますので、まず安全性を十分に確保できるかどうか。また、委員御発言の中にもありましたが、プールで熱中症というのが非常に大きな問題になっております。そういったところも、水温何度以上、また、気温が何度以上であれば屋内運動だけじゃなしにプールの運動も駄目な時間も設けなくてはいけないので、様々なクリアしていかなければならないようなこともあるかとは思いますが、委員御発言の提案に関しましては、前向きに検討させていただきたいと思っております。

○小川委員　　211ページ。211と215を併せて、インターネットの使用料、ありますよね。タブレットを、多分1人1台のインターネット使用料かと思うんですが、もうそろそろ更新時期が来ると思うんですけれども、更新に対して国の補助金がまた出るのかどうか。準備されているのか。



○柳田教育総務課長　　今使っているタブレットに関しましては、更新が5年という期間を持ってみれば、令和7年ぐらいが更新の年になってくるというふうに考えております。

また、国のほうの補助金の関係なんですけれども、今のところ、それに対応するというような補助金の創設されるという動きはまだちょっと確認はできておりませんが、これら事業に関しましてはコロナの交付金を充てて購入した市町も多いかと思えます。恐らく国のほうも何らかの補助金、交付金が考えられるのであれば、私どものほうもそういったところを確認しつつ、利用できる補助金を使って更新をかけていきたいと思っております。

○小川委員　　もう更新しているところもありますので、もうそろそろ準備しておいたほうがいいんじゃないかと思うんですけど、何か、国がまた補助金、更新のときに出すというような話もちらっと聞いたものですから。タブレット。情報、出ているみたいですよ。

○柳田教育総務課長　　大変失礼しました。文科省のほうで概算要求のほうが出ておるといことでしたので、こちらのほうも必ず活用する形で更新のほうを進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○南委員長　　他にございませんか。

では、ちょっと1点私のほうから、細かい話なんですけど、211ページの微量PCB分析業務手数料で15万8,400円上がっておるんですけれども、まだ、いまだに市役所内にPCBというのは……。僕は、多分もう処理されたと思っておったんやけど、全部。まだあるんですか、結構。

○柳田教育総務課長　　PCBの分析手数料に関しましては、須賀利小学校の中に低濃度のやつがあることが判明いたしまして、その分析の手数料ということで計上させていただきました。やはり、現在使っていない施設でございましたので、ちょっと確認が遅れたということもありまして今回計上させていただいたんですけれども、今のところでございますが、廃校、休校になったところも含めて、今のところこれで最後かなということで確認は取っております。

○南委員長　　もう一度しっかり確認をしていただいて。おいておるのはいないか、改めてしっかりもう対応をしてほしいと思えます。

それと、最後で、奨学金の貸付事業なんですけれども、最近応募が少ないんですよ、ずーっとね。再募集してもなかったりということで、やはり結構借りやすくなって、ハードルは下がって、有利な点もかなりあるんですけれども、いまだに

募が少ないということは、やはり教育委員会としてどこに問題というよりかは、課題があると分析をしておりますか。

○柳田教育総務課長　やはりこの奨学金、御利用になる方に対してのPRがちょっと薄いのかなというふうには考えております。なかなか尾鷲市が奨学金をしておるということを、認知されておる方の数も少ないのかなと思いますので、先日一般質問でもありましたが、商工観光課では、企業のPRポスターを貼るといようなことを進めていくという中で、できれば私どものほうも、中学校であるとか、高校であるとかに、尾鷲市にも奨学金があつて、なおかつ、尾鷲に帰ってこられて、5年間以上勤められた場合には免除されるよというようなところも非常に有益な情報かと思っておりますので、そういったところをPRを厚くやっていきたいなと思っております。

○南委員長　尾鷲がこういった経済が脆弱で、本当に大変な過疎地域ですので、尾鷲独自の全国が見習うような奨学金制度を思い切って僕は考えてもいいんじゃないかなと考えておりますので、ぜひとも御検討をお願いいたします。

では、よろしいですか、皆さん。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○南委員長　それでは、これで議案第46号、令和4年度尾鷲市一般会計歳入歳出決算の認定については全て終了をいたします。

本日はこれにて散会をいたします。明日は議運、全協、あるんですね。明日ね。

(発言する者あり)

○南委員長　明日は10時から議運と終了後全協、その後、委員会をして病院と水道に入っていただきますので、よろしく願いをいたします。ありがとうございました。

(午後 2時19分 閉会)